

第4章 キャリア運賃

「キャリア運賃の概要」

航空会社は、自社独自の運賃を設定することができる。これを「キャリア運賃」と言う。

- キャリア運賃のほとんどは、利用できる航空会社が限定されている。
- 運賃の種類は、各航空会社で多種・多様にわたり、適用規則もそれぞれ異なる。
- 曜日運賃やシーズンリティの設定、訪問可能都市、旅行形態、発券・予約、必要旅行日数、最長旅行期間、途中降機、経路などの適用規則において、制限や条件がつく場合が多い。
- 大きく分けて、普通運賃と特別運賃の2つに分類される。

普通運賃

- 原則、タリフの運賃名称に「普通運賃」の記載がされている運賃をいう。(JLの場合は「Flex F/J/W/Y 運賃」)
- 原則、旅客の適用条件や旅行条件に制限はないが、曜日運賃、発券期限、経路規定の設定など、一部の項目で条件がつく場合がある。他の航空会社のキャリア普通運賃との運賃の結合が可能なものもある。
- 多くの航空会社が各クラス（ファースト、ビジネス、プレミアムエコノミー、エコノミー）の普通運賃を設定している。

特別運賃

- 「特別運賃」は、原則、普通運賃の名称が記載されていない運賃を総称するもので、多くの航空会社が各種の特別運賃を設定している。
- 一般的に普通運賃より安価だが、各種の条件、制限、期限などが付される。
- 各社ともエコノミークラスの特別運賃が中心だが、ビジネスクラス等の特別運賃を設定するキャリアもある。JLとNHの代表的な特別運賃の例は以下のとおり。

〔ビジネスクラス特別運賃〕

- JL Semi-Flex C 運賃、NH Standard J 運賃など

〔エコノミークラス特別運賃〕

- 現在の日本発キャリア運賃の主流であり、「ベックス運賃（個人回遊運賃）」と総称される場合もある。運賃を適用する際の旅客の資格は問わない。
- JL Semi-Flex B 運賃、JL Special Saver L 運賃など
- NH Standard M 運賃、NH Value V 運賃など

〔その他の特別運賃〕

- IT 運賃（個人包括旅行運賃）：旅客の資格は問わない。ただし宿泊の手配等が付随されていることが条件なので、航空券のみの販売はできない。設定するキャリアは一部のみ。
- その他：世界一周運賃など。

第1項：キャリア運賃の適用規則

キャリア運賃を適用する際は、原則 IATA の運賃計算規則が基本となっているが、下記の通り、適用する際の制限、条件、期限などが付されている。

◆目的地と適用可能都市

目的地（折り返し地点）や経由地（途中降機・乗り継ぎ）は、規則で定められた（あるいは運賃表に記載の）地域や都市でなければならない。

◆途中降機、乗り換え、経路規定

各種の制限が設定される場合が多く、その条件を満たす日程・旅程としなければならない。また途中降機料金の加算を必要とする運賃もある。

◆シーズンリティと曜日運賃の設定

年間を通じての同一運賃額でなく、運賃のシーズンリティ（適用期間）を定めて、日本発着国際線区間の出発日により運賃額に差が設けられる場合や、日本発着国際線区間の出発曜日により、ウィークエンド（週末）運賃とウィークデイ（平日）運賃が設けられる場合がある。

◆旅行形態

IATA の運賃計算規則の定義に準ずる。但しオープンジョーの場合、折り返し地点の両端都市は、当該運賃の規則によって適用可能な地域または都市（目的地）であれば、Surface 区間が国内区間か国際区間であるかのチェックは不要である。

（P48 - ③サーフェス区間の取扱い：のⅡ. とⅢ. の規定は適用しない）

◆結合可能運賃

異なる運賃種別（クラス）の1/2往復運賃を、往路と復路のコンポーネントのそれぞれに適用できる（結合可能な）運賃がある。（例：P108 - JL Semi-Flex J 運賃と JL Semi-Flex L 運賃）

なお運賃を結合して全旅程の適用運賃としようとする場合は、いずれかの「より（最も）厳しい」適用規則・条件を、全旅程に適用する場合と、各々の運賃規則を「フェアコンポーネントごと」に適用する場合がある。

◆マイレージ計算とHIPチェック

タリフに記載の規定に従う。

◆予約・経路の変更、取り消し・払い戻し

運賃の種別・種類によって各種の制限や手数料の徴収などがある。

◆規則で「制限なし」となっているものは、制限・条件・期限などが無い、あるいは手数料・料金などの徴収がないことを表す。

（例）途中降機の制限なし = 途中降機は無料で何回でも可能。

キャリア運賃

以下は、米国行「JAL Semi-Flex I 運賃」の運賃規則表の抜粋である。各項目の規定の詳細は、表右側の番号で解説する。

JL 米国行 < Semi-Flex I >		(抜粋)									
名称・運賃種別	Semi-Flex I 運賃 (例: IHX22ZN8)	→ 1									
目的地	米国 (ハワイを除く) (PA)	→ 2									
適用旅客・人数	個人	→ 3									
クラス・旅行形態	ビジネスクラス往復、周回、オープンジョー	→ 4									
適用期間・運賃	<p>運賃額詳細 (特定便追加運賃を含む) は運賃表を参照</p> <p>シーズナリティの適用:</p> <p>往路: 往路の国際線出発日を基準として往路の旅程に適用する</p> <p>復路: 復路の北米内の最終地点出発日を基準として復路の旅程に適用する</p> <p>ウィークエンド (W)・ウィークデイ (X) 運賃の適用:</p> <p>往路: 日本国内の最終地点を出発する曜日を基準とし、1/2 往復運賃を適用する</p> <p>復路: 北米内の最終地点を出発する曜日を基準とし、1/2 往復運賃を適用する</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>ウィークエンド (W)</th> <th>ウィークデイ (X)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>往路出発</td> <td>土~月</td> <td>火~金</td> </tr> <tr> <td>復路出発</td> <td>金・土</td> <td>日~木</td> </tr> </tbody> </table> <p>旅程にホノルルが含まれる場合は、片道につき大人 30,000 円、小児 22,500 円、幼児 3,000 円の Q サージが途中降機の有無に関わらず加算される</p>		ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)	往路出発	土~月	火~金	復路出発	金・土	日~木	→ 5
	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)									
往路出発	土~月	火~金									
復路出発	金・土	日~木									
予約・発券	<p>① 予約クラス: "I" (日本国内 "I" "Y")</p> <p>② 予約は最初の国際線搭乗日の 21 日前までに行う</p> <p>③ 発券は予約完了後 7 日以内。ただし、最初の国際線搭乗日の 21 日前までに行う</p>	→ 6									
必要旅行日数	復路の北米内最終地点の出発は最初の日曜日以降	→ 7									
最長旅行期間	12 ヶ月発・開始	→ 8									
途中降機	第 1 地区内で往路・復路各 1 回無料で可	→ 9									
乗り換え	<p>① 日本国内で往路・復路各 1 回可</p> <p>② 第 1 地区内で往路・復路各 2 回可</p>	→ 10									
経路規定	<p>① 日本発着国際線区間は日本航空 (JL) に限る</p> <p>② 日本国内区間は日本航空 (JL)、または日本トランスオーシャン航空 (NU) に限る</p> <p>③ フェアコンポーネント内のサーフェスセクターは不可</p>	→ 11									
運賃計算規定	距離計算は行うが、HIP チェックは行わない	→ 12									
参加航空会社	NU, AA, AC, AS, B6, WS	→ 13									
結合可能運賃	<p>① 当該運賃用アッドオン運賃</p> <p>② 結合可能な日本発第 1 地区 (ハワイを除く) 行き 1/2 JL/AA 運賃</p> <p>③ 発券、必要旅行日数、最長旅行期間、取り消し・払い戻しについては、結合されるより厳しい運賃規則が全旅程に適用される。</p> <p>適用期間、途中降機、乗り換え、経路規定、運賃計算規定、予約変更・経路変更については、フェアコンポーネントごとの運賃規則が適用される。</p> <p>ただし、変更料金については、旅程内の変更したすべてのフェアコンポーネントの中でもっとも高い額が適用される</p>	→ 14									
小幼児運賃	小児は大人運賃の 75%、幼児は大人運賃の 10%。ただし幼児は同伴する大人が本運賃を利用する場合にのみ適用可	→ 15									
同時旅行	制限なし	→ 16									
予約変更・経路変更	無料で可。すでに予約が入っている便の出発時刻までに手続きを行うこと。変更の結果生じる差額調整は行うこと。	→ 17									
取り消し 払い戻し	<p>[旅行開始前]</p> <p>① 往路の最初の区間の予約便出発時刻より前に取り消しの連絡を行った場合 大人 100,000 円、小児 75,000 円を取り消し手数料として収受し、残額を払い戻す。</p> <p>② 予約便の取り消しを行わなかった場合 払い戻し不可</p> <p>[旅行開始後]</p> <p>払い戻し不可</p>	→ 18									

Semi-Flex I 運賃表 (東京発・抜粋)

往路運賃：往路の国際線出発日を基準として往路の旅程に適用する

復路運賃：復路の北米内の最終地点出発日を基準として復路の旅程に適用する

〔往路運賃〕 (単位：円)

目的地 シーズナリティ	LAX ロサンゼルス		CHI シカゴ		NYC ニューヨーク		WAS ワシントン	
	W	X	W	X	W	X	W	X
10/1～11/2	870,000	620,000	1,000,000	750,000	1,020,000	770,000	1,020,000	770,000
11/3～3/2	810,000	568,000	948,000	698,000	968,000	718,000	968,000	718,000
3/3～3/31	870,000	620,000	1,000,000	750,000	1,020,000	770,000	1,020,000	770,000

〔復路運賃〕 (単位：円)

目的地 シーズナリティ	LAX ロサンゼルス		CHI シカゴ		NYC ニューヨーク		WAS ワシントン	
	W	X	W	X	W	X	W	X
10/1～10/31	870,000	620,000	1,000,000	750,000	1,020,000	770,000	1,020,000	770,000
11/1～2/28	810,000	568,000	948,000	698,000	968,000	718,000	968,000	718,000
3/1～3/31	870,000	620,000	1,000,000	750,000	1,020,000	770,000	1,020,000	770,000

特定便追加運賃 搭乗便が下記特定便に該当する場合、特定便追加運賃をQサーチャージとして加算する。

搭乗便	加算額 (片道)
JL001/002/005/006	10,000 円

タリフに記載されるキャリア運賃の各規則の概要は以下の通り。具体的な運賃計算例や規則の適用例は、P100～104 (JAL Semi-Flex I 運賃の例) を参照。

1. 名称・運賃種別

- (1) 運賃の名称や、運賃の種別が記載される。各航空会社独自の名称となる。
- (2) 運賃種別コード (Fare Basis Code) の例が記載される場合がある。

●表記例 (JAL Semi-Flex I 運賃の場合)

IHX22ZN8 : IH = 予約クラスとシーズナリティ、X = ウィークデイ (平日) 運賃、
22ZN8 = 運賃種類と行き先のコード等

2. 目的地

- (1) 記載されている地点 (地区、地域、国、都市など) を、旅程上の目的地点 (運賃計算上の折り返し地点) としなければならない。

JAL Semi-Flex I 運賃は、“米国 (ハワイを除く)” となっているので、ハワイが目的地となる旅程に適用することはできない。(ただし、ハワイを経由する旅程は可能である - P91 (5))

- (2) 旅行経路 (GI) が指定または限定される場合がある。

JAL Semi-Flex I 運賃は、(PA) と記載されているので、日本発着国際線は、往復とも太平洋横断の経路のみ可能である。= AT (大西洋を横断する経路) は不可。

3. 適用旅客・人数

- (1) 当該運賃を適用できる、必要最少人員（大人旅客）が記載され、この欄に「個人」とあれば、大人旅客1名から適用が可能である。一部の運賃においては、旅客の適用資格などの規定が記載される場合がある。

4. クラス・旅行形態

(1) クラス

当該運賃を適用するときの日本発着国際線のクラス。各航空会社ともエコノミークラスの運賃設定を中心に、ファーストクラスやビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスのキャリア運賃を設定する航空会社もある。

(2) 旅行形態

全旅程は、規則表に掲載された旅行形態に限定される。JAL Semi-Flex I 運賃は、往復・周回・オープンジョーは可能だが、旅行形態が片道旅行となる旅程には適用不可である。

★★★ 5. 適用期間・運賃（シーズンナリティ、曜日運賃、追加運賃等）

(1) 運賃

- ① 運賃表に特に明記がないときは、記載される運賃は「往復運賃」である。
- ② タリフに記載される運賃額の単位は、一般的に「円」で記載されるが、マイレージ計算等で運賃の割り増しを行った結果、100円未満の数値がでる場合は、日本円運賃額の最小単位である100円単位に切り上げる。（P23 参照）
- ③ 旅行形態が往復、周回、オープンジョーの場合は、往路と復路の各々のコンポーネントに、1/2 往復運賃を適用する。
- ④ 以下の（2）～（5）の設定がある運賃の場合、原則下記のとおり適用する。

(2) シーズンナリティ（適用期間）

運賃が設定される期間のことを「シーズンナリティ」という。

年間（あるいは6ヵ月）を通して、シーズンナリティと運賃額が1つの運賃種類（例：P123 - JL/Semi - Flex D 運賃）がある。

一方で、期間（季節）を複数に分けて、国際線の出発日により運賃額に差をつける運賃種類がある。

複数のシーズンナリティに分けて運賃額が変動する運賃における、往路と復路のコンポーネントのシーズンナリティの適用に関しては以下の2つがある。

① シーズンナリティの適用が、往路と復路で異なる運賃

- 往路往復運賃と復路往復運賃が別々に設定され、かつ、往路のコンポーネントのシーズンナリティは「往路の国際線出発日」を基準とし、復路のコンポーネントのシーズンナリティは「復路の国際線出発日（北米内の最終地点出発日）」を基準として、それぞれのシーズンナリティの運賃を適用する。（例：JL Semi-Flex I 運賃）

② シーズナリティの適用が、往路も復路も同じ運賃

- 往路運賃と復路運賃という区分はなく、かつ、往路と復路は「往路の国際線出発日」を基準としたシーズンリティ（往路と復路は同じシーズンリティ）の運賃を適用する。往路・復路で同一のシーズンリティを適用する運賃は、一部の運賃のみである。（例：NH/グアム行 Standard B 運賃 - P105）

(3) 曜日運賃（ウィークエンド（W）運賃とウィークデイ（X）運賃）

国際線区間を出発する曜日により運賃が変動する曜日運賃（ウィークエンド（W）運賃とウィークデイ（X）運賃）が設けられている運賃がある。運賃の種類により曜日運賃の設定の有無は異なる。

- 曜日運賃が設定されている場合、往路と復路のそれぞれのコンポーネントごとに別々に決定する。

※以下、ウィークエンド（W）運賃を週末運賃、ウィークデイ（X）運賃を平日運賃と記載する場合がある。

(4) 追加運賃

コンポーネントの適用運賃を計算する際に、以下のような追加運賃（Qチャージあるいはサーチャージと表記される場合がある）の加算が必要な運賃がある。追加運賃は「片道××円」のように記載されるので、コンポーネントの運賃を算出する際は、 $\times\times円 \times 1/2$ としないで、そのままの金額を加算する。（P103の計算例①を参照）各追加運賃は、特に明記がない限り、小幼児の割引率を適用することができる。

① 特定便追加運賃（例：P88 - JL Semi-Flex I 運賃）

- 往路または復路の日本発着国際線の搭乗便名が加算の対象便に該当するときは、出発日に関わらず、当該コンポーネントに追加運賃の金額を加算する。

② 特定日追加運賃（例：P105 - NH Standard B 運賃）

- 往路または復路の日本発着国際線の出発日が、加算の対象日に該当するときは、搭乗便名に関わらず、当該コンポーネントに追加運賃の金額を加算する。

③ 搭乗曜日追加運賃

- 曜日運賃の設定はないが、往路や復路国際線の出発曜日（主に土曜発と日曜発）により、追加運賃の支払いが必要な運賃種類もある。

(5) 「JAL Semi-Flex I 運賃」は、ハワイを目的地とすることはできないが、ハワイのホノルルを経由する旅程は可能である。ただし追加料金（Qサーチャージ）の加算が必要である。

★★★ 6. 予約・発券

日本発着国際線の予約クラス、予約の期限、航空券の発券期限、予約および航空券発券時の注意点等の規則が掲載される。

(1) 予約クラス

日本発着の国際線区間の予約クラスが記載される。(日本国内線の予約クラスが追記される場合もある。)

往路と復路のそれぞれのコンポーネント(運賃計算区間)に適用する通し運賃の額は、この日本発着の国際線区間の予約クラスによって決定する。

(2) 予約・発券の期限 [JL Semi-Flex I 運賃の規則例]

① 予約

「予約は最初の国際線搭乗日(注)の21日前までに行う」

予約の期限がある場合、期限(期日)の計算は、引き算を行う。

- 最初の国際線搭乗日が12月30日の場合、12月9日(12/30 - 21 = 12/9)までに予約が完了していなければならない(=当該運賃を適用運賃とする場合、12/9が予約の可能な最終日となる。)

② 発券

「発券は予約完了後7日以内。ただし最初の国際線搭乗日(注)の21日前までに行う」

発券の期限がある場合、原則「×日以内」または「×日前まで」という表記がされるが、期限(期日)の計算をするとき「×日以内」は足し算を行い、「×日前まで」は引き算を行う。

- 最初の国際線搭乗日が12月30日、予約完了日が12月5日の場合、(予約は最初の国際線搭乗日の25日前に完了している)以下のように発券期限が重複する。

「予約完了後7日以内」= 12月12日(12/5 + 7)

「最初の国際線搭乗日の21日前まで」= 12月9日(12/30 - 21)

- ただし書きにより、複数の発券期限があるが「より早いほうの日」を発券の期限としなければならない。従って12月9日が発券可能な最終日となる。(12/10以降では、予約した旅程に当該運賃を適用して発券することはできない。及び発券期限までに発券が行なわれないときは、全予約が自動的にキャンセルされる場合がある。)

〈注〉「最初の国際線搭乗日の」という規則は、運賃の種類によっては、「旅行開始の」という規則となる場合がある。

★★★ 7. 必要旅行日数

当該運賃の、最低限必要な旅行日数（最短旅行可能日数）を定めたもの。

- (1) 最も早く、海外から日本に向けた旅行が開始できる日。（日本着の日ではない）
- (2) 復路の最後の途中降機地点（途中降機地点がない場合は折り返し地点）からの出発は、この日の「0時01分以降」の便でなければならない。
- (3) 日本発の運賃は、原則「制限なし」または「X日発・開始」の期日となっていて、「往路の国際線出発日」（日本国内線の出発日は含めない）が、起算日の基準となる。
* 太平洋(PA)運賃の場合は一般的に往路の太平洋横断区間の出発日を基準として、復路の太平洋横断区間の出発日を決定する。

「制限なし」：必要旅行日数は考慮しなくてよい。（＝日帰りも可能）

「X日発・開始」：往路の国際線出発日の翌日から数えて「X日目」となる。

（往路国際線出発日 + X日で計算する）

〔例〕 TYO 発 4月8日、PAR 行の往復旅行、必要旅行日数が「2日発・開始」の場合

- 往路の国際線出発日（4/8）の翌日から数えて2日目は、 $4/8 + 2 = 4月10日$ となる。従って必要旅行日数の条件を満たす日（PAR から TYO に向けた最も早い旅行開始日）は、4月10日である。（4月10日の0時01分以降に出発する便でなければならない。）

(4) 必要旅行日数の適用に注意が必要な例

運賃によっては下記①のように日数が記載されない、あるいは②のように日数とただし書きが併記されるような場合がある。この場合の規則の適用方は以下の通りとなる。

① JL Semi-Flex I 運賃の規則例

「復路の北米内最終地点の出発は最初の日曜日以降」

- 往路の国際線出発日が3月4日（火）である場合、最も早く日本に向けた復路の旅行が開始できるのは、最初の日曜日の3月9日以降となる。

② NH Standard W 運賃の規則例（P144）

「3日発・開始。ただしヨーロッパ内で土曜日の滞在が含まれていること」

- 往路の国際線出発日が3月3日（月）である場合、ただし書きがなければ $3/3 + 3 = 3/6$ （木）が、最も早く日本に向けた復路の旅行が開始できる日となるが、「ただし土曜日の滞在が含まれていること」というただし書きがあるため、このただし書きの条件も併せて満たすには、3月8日（土）までヨーロッパに滞在する必要がある。（＝土曜日の宿泊を含む必要がある、の意）従って、必要旅行日数の規則の条件を満たす日付は、3月9日（日曜日）となる。

★★★ 8. 最長旅行期間

当該運賃の、最大限（最長）の滞在可能日数（期間）を定めたもの。

- (1) 規則を最大限に適用したときの復路の最後の途中降機地点（途中降機地点がない場合は折り返し地点）から「日本に向けた帰路の出発」は、当該日の24時までに出発する（日本着の日ではない）便でなければならない。
- (2) 日本発の運賃の多くは「X日発・開始」「X週間発・開始」「Xヵ月発・開始」「1年発・開始」となっていて、「旅行開始日（日本国内線の出発日を含む）」が、起算日の基準となる。
- (3) 最長旅行期間の数え方

最長旅行期間	数え方	規則例	旅行開始日	最長旅行期間の満了日
X日発・開始	旅行開始日の翌日から数えてX日目	10日発・開始	3月11日	3月21日 (3/11+10=3/21)
		28日発・開始		4月8日 (3/11+28=3/39=4/8)
X週間発・開始	旅行開始日から数えてX週目の同曜日	2週間発・開始	4月8日	4月22日 (2週間目の同曜日)
		4週間発・開始		5月6日 (4週間目の同曜日)
Xヵ月発・開始	旅行開始日から数えてXヵ月目の同日	1ヵ月発・開始	4月10日	5月10日 (1ヵ月目の同日)
			3月31日 [㊤]	4月30日 (1ヵ月目の月末日 [㊤])
12ヵ月発・開始	旅行開始日から数えて12ヵ月目の同日	12ヵ月発・開始(※)	4月30日	翌年の4月30日(同日)

㊤旅行開始日が月末日の場合は、Xヵ月目の月末日が最長旅行期間の満了日となる。

※「12ヵ月発・開始」は「1年発・開始」と表記される場合がある。

〔例〕1ヵ月発・開始の場合

- 旅行開始日が3月31日であるときは4月30日、また旅行開始日が4月30日であるときは、5月31日が最長旅行期間の満了日となる。

〔例〕TYO発4月5日、NYC行の往復旅行

- 「21日発・開始」（旅行開始日+X日で計算する）の場合

旅行開始日の翌日から起算して21日目なので、 $4/5 + 21 = 4月26日$ となる。従って最長旅行期間を最大限に適用したときの（NYCから日本に向けての帰国が可能な）NYC発の便は4月26日の24時までに出発する便でなければならない。

- 「4週間発・開始」の場合

4月5日から数えて4週目の同曜日にあたる、5月3日が最長旅行期間の満了日となる。（1週目 = 4/12、2週目 = 4/19、3週目 = 4/26、4週目 = 5/3）

- 「1ヵ月発・開始」の場合

4月5日から数えて1ヵ月目の同日にあたる、5月5日が最長旅行期間の満了日となる。

★★★ 9. 途中降機

乗り換え（次頁）のうち、滞在が24時間を超えることを途中降機という。

- ①「各コンポーネントの始点と終点」の都市及び「折り返し地点」となる都市は、運賃計算上では途中降機地点から除く。
- ②以下のように運賃により各種の規則や制限が設けられている。

(1) 途中降機料金

- ①「制限なし」と記載されている場合、途中降機は無料で何回でも可能である。
- ②「ヨーロッパ内で2回可（1回につき15,000円）」のように、旅程全体の回数となる場合や、「往路・復路で各1回可（1回につき10,000円）」のように、コンポーネントごとの回数となる場合もある。
- ③ JAL Semi-Flex I 運賃の「途中降機」の規則例（P88）

「第1地区内で往路・復路各1回無料で可」

- 途中降機は全旅程において、往路1回と復路1回の途中降機が可能だが、往路2回または復路2回のように、どちらかのコンポーネントだけで2回以上の途中降機はできない。

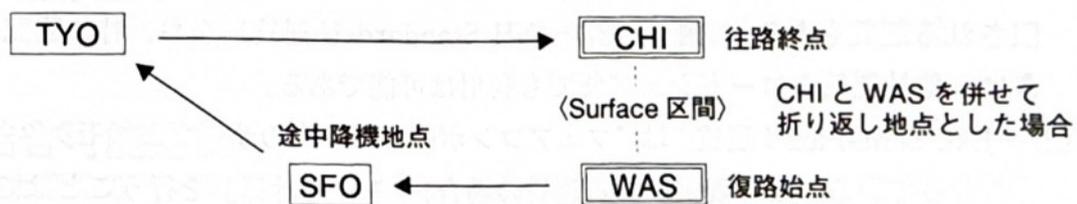
- ④「米国内で往路・復路各1回可（無料で1回、さらに10,000円で1回可）」のような規則もある。この場合は、全旅程の中で1回目の途中降機を無料扱いとし、2回目の途中降機は途中降機料金を支払う。

（例）P79のBOSを折り返し地点とする旅程にこの規則を持つ運賃を適用した場合、往路のNYCは無料扱いとし、復路のCHIは途中降機料金を支払う。

- ⑤小幼児割引が適用できる運賃の場合、途中降機料金も小幼児の割引率が適用される。

(2) 往路の終点と復路の始点がサーフェスとなるオープンジョーの途中降機地点

- 下記旅程例のように、往路の終点をCHI、復路の始点をWAS（CHIとWASは併せて折り返し地点となるので、運賃計算上の途中降機地点とはならない）とするオープンジョーの場合、全旅程の途中降機地点は復路「SFO」の1回のみとなる。

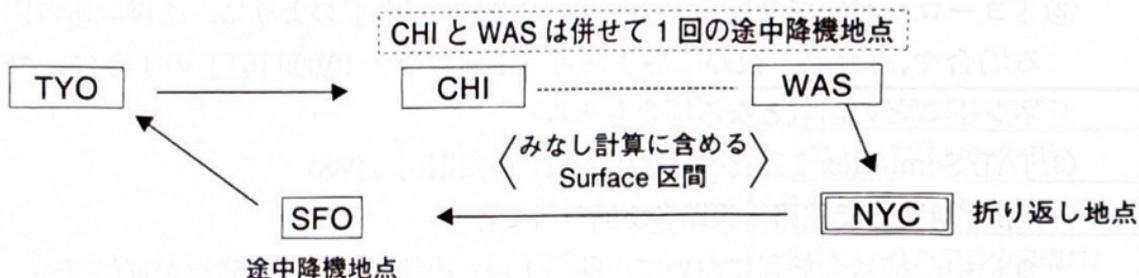


(3) 「みなし計算」をしたときの途中降機の特例

- ①上記(2)の旅程例で、WASを目的地（折り返し地点）として、CHI - WASのSurface区間を含めた「みなし計算」を行う場合、折り返し地点（WAS）に接している都市のCHIは途中降機地点にしなくてよい。よって全旅程の途中降機地点は、前項(2)と同様に、復路「SFO」の1都市のみとなる。

②コンポーネント途中のサーフェス区間を含めて「みなし計算」を行う場合

- 下記例のようにNYCを折り返し地点として、コンポーネント途中のSurface区間(CHI - WAS)を含めたみなし計算をするときは、CHI ~ WAS間のSurface区間は、2都市を併せて1回の途中降機とカウントする。
- 従って途中降機地点は、往路の「CHIとWAS」で1回、復路「SFO」で1回の、合計2回となる。(但しCHI到着とWAS出発までの滞在時間が24時間以内の場合は、両都市を併せて1回の乗り継ぎ地点とすることができる)



★★★ 10. 乗り換え

ある都市に航空便で到着して、異なる航空便で次の都市へ移動することを乗り換えとい、途中降機と乗り継ぎの両方が含まれる。

- (1) コンポーネントの始点と終点の間にある中間地点が対象である。(始点と終点及び折り返し地点は乗り換え地点のカウントに含めない)
- (2) 乗り換えが不可となる場合や、乗り換え可能都市・回数等の制限が設けられる場合がある。

★★ 11. 経路規定

利用航空会社、コードシェア便関連、便名・区間、経路、経由地、乗り換えなどの各種の制限・規則が記載される。

- (1) 利用可能な航空会社名(自社や他社)など。他社運航のコードシェア便の利用が制限される運賃もある。(例:P127 - NH Standard U運賃)なお、特に明記がないときは、他社運航のコードシェア便でも利用は可能である。
- (2) 「JAL Semi-Flex I運賃」は“フェアコンポーネント内のサーフェスセクターは不可”となっている。この規定がある運賃の場合、「みなし計算」を行うことはできない。

★★★ 12. 運賃計算規定

この欄に記載の計算規定を適用して運賃計算を行う。主に「マイレージ計算」と「HIPチェック」の規則に関するものが記載される。

- (1) 以下は、比較的多く用いられる運賃計算規定の記載例である。

①「距離計算、HIPチェックを適用する」

通常の運賃計算規則を適用して、マイレージ計算とHIPチェックを行う。

②「距離計算は適用するが、HIP チェックは適用しない」

マイレージ計算は必要であるが、HIP チェックは不要である。

③「指定経路型運賃であり、距離計算・HIP チェックは適用しない」

途中降機、経路規定などに、制限や条件が付いている運賃で設けられることが多い。
文字通り、マイレージ計算と HIP チェックは不要である。

〈参考〉過去の国家試験では、この欄の項目名を「運賃計算例外規定」とした資料が出題されたことがある。この場合、IATA が定めた運賃計算の原則を適用しない規定（＝例外となる規定）に関するものが記載される。下記は項目名が「運賃計算例外規定」である場合の規定の記載例と、その取り扱いについてまとめたものである。

規定の記載例	取り扱い
なし	“例外規定がない”という意味。従って通常の運賃計算規則を適用して、マイレージ計算、HIP チェックを行う。
HIP チェックは不要	マイレージ計算に関する記載がないので、HIP チェックは不要であるが、マイレージ計算は必要である。
距離計算は適用しない	HIP チェックに関する記載がないので、マイレージ計算は不要であるが、HIP チェックは必要である。
距離計算、HIP チェックは行わない	文字通り、マイレージ計算と HIP チェックは不要。

(2) HIP チェックは以下のとおり行う。

①「乗り継ぎ地点まで／から」の運賃は、HIP チェックの対象としない。

②曜日運賃の設定がある運賃を適用するときの HIP チェック。

- コンポーネントにウィークエンド（W）運賃を適用する場合、HIP チェックに用いる各都市間の運賃は、ウィークエンド（W）運賃で比較する。
- コンポーネントにウィークデイ（X）運賃を適用する場合、HIP チェックに用いる各都市間の運賃は、ウィークデイ（X）運賃で比較する。

③途中降機料金やその他の追加運賃（特定日加算、特定便加算など）がある場合、当該加算額を含めないで（除外して）コンポーネントの HIP チェックを行う。

④特別運賃の特例：途中降機地点相互間の運賃は、HIP チェックの対象外とする。

13. 参加航空会社

当該運賃で利用可能な（コンポーネントに含めることができる）航空会社。

★★★ 14. 結合可能運賃

往路と復路のコンポーネントに、異なる運賃種別（予約クラス）の運賃を適用し、往路と復路の運賃を合算（運賃を結合）して全旅程の運賃とすることが可能な運賃がある。

このときに算出される全旅程の運賃を結合運賃という。（結合運賃の適用例は、P107 参照）

(1) 当該規則の項に記載される他の運賃と、運賃の結合が認められる。

(2) 結合をしようとする運賃同士の適用規則が異なる場合、特に明記がない限り、以下のように取り扱う。

- ◆予約の期限が過ぎた運賃は適用できない。(他の運賃との結合はできない。)
- ◆発券、必要旅行日数、最長旅行期間、取り消し・払い戻しについては、全旅程により厳しい規則が適用される。
 - 下記①②③のいずれかが、日程や適用条件に合致しない場合、その運賃は全旅程に適用することはできない。=他の運賃との結合はできない。
 - ①発券：「より早い時期」を全旅程に適用する。
 - ②必要旅行日数：「より長い期間」を全旅程に適用する。
 - ③最長旅行期間：「より短い期間」を全旅程に適用する。
 - 航空券の払い戻しを行う際は、どちらかの「より高額な手数料」が徴収される。結合した運賃のどちらかが「払い戻し不可」という規則である場合は、未使用区間があっても払い戻しは不可となる。
- ◆適用期間、途中降機、乗り換え、経路規定、運賃計算規定、予約変更・経路変更、追加運賃（特定便追加運賃・特定日追加運賃など）の規則については、フェアコンポーネント（運賃計算区間）ごとの規則が適用される。
 - 結合が可能な運賃種別（予約クラス）同士であるときは、該当する運賃規則が異なる場合でも、運賃の結合が可能である。
 - なお予約変更が可能な運賃同士を結合したときで、往路と復路の予約の変更を同時に行う場合は、いずれか高いほうの変更料金のみを支払えばよい。
- ◆シーズンリティについては、特に明記がない限り、以下のように取り扱う。
 - 往路運賃と復路運賃が別々に設定されている運賃については、往路と復路のそれぞれの国際線出発日を基準としたシーズンリティを、それぞれのコンポーネントに適用する。

★ 15. 小幼児運賃

特に明記がない限り、大人が適用する運賃規則と同じ規則が小幼児にも適用される。

以下は大人が同伴する場合である。

	小児	幼児	備考
年令基準	2歳以上12歳未満	2歳未満	旅行開始日を基準とする
座席の使用	可	不可(*)	(*)座席を使用する場合は小児運賃
運賃			
途中降機料金 特定日加算な どの追加運賃	大人の75%	大人の10%	燃油サーチャージ、航空保険料は原則割引なし

(注) 上記各項目の扱いは、航空会社や運賃種類によって異なる場合があるので、実際に小幼児運賃を適用する際には、航空会社への確認が必要。

16. 同時旅行

複数人数（2名以上）を対象とする運賃である場合（一部の団体運賃）にのみ、その規則が記載される。一般的に通常のキャリア運賃は、個人での（1名から）利用が可能なので、「制限なし」と記載される。

★★★ 17. 予約変更・経路変更

航空券発券完了後の変更についての規則が記載される。

従って発券前においては、適用する運賃の規則・条件（予約や発券の期限など）に沿ったものであれば、予約・経路の変更は可能である。

航空券の Ticketed points（航空券に表記される搭乗区間）の変更を伴うか否かで、予約変更か経路変更かを区分する。

- (1) 予約変更とは、Ticketed points を変更しない予約等の変更をいう。
- (2) 経路変更とは、Ticketed points を変更する場合をいう。
- (3) 規則表には、旅客の都合による予約や経路の変更の際に、当該運賃を適用したままで変更が可能かどうかの記載がされる場合もある。
 - 「旅行開始前」と「旅行開始後」の2つに分けた規則となるのが一般的である。
 - 変更の可否や変更の条件、また変更が可能な場合でも手数料が必要になる等、運賃種類ごとに各々の規則が異なる。

★★★ 18. 取り消し・払い戻し

- (1) 取り消しとは、予約した便を取り消すことをいう。
- (2) 払い戻しとは、予約便の取り消しを行った結果、未使用航空券の全部または一部について、航空券の運賃等の払い戻しを行うことをいう。
- (3) 運賃種類ごとに各々の規則が異なる。
 - 旅行開始前と旅行開始後で、取り扱い方や取消料の金額が異なる場合があり、払い戻しが不可となる場合もある。
また、旅行を取りやめる（中止する）前に、旅客が予約の取り消しの連絡を行ったかどうかで取消手数料の金額が異なる場合がある。
 - 旅行開始前と旅行開始後は、以下のように区別する。
 - 〔旅行開始前〕旅客が旅行を開始する前（＝航空券は全区間未使用）に旅行を取りやめた（旅行をすべて中止した）とき。
 - 〔旅行開始後〕旅客が旅行を開始した後（＝航空券の一部の区間を使用）に旅行を取りやめた（旅行を途中で止めた）とき。
 - 航空券の払い戻しを行うときの取消手数料は、特に明記がない限り、大人運賃と小児運賃を適用する旅客が有料の場合でも、幼児運賃を適用する旅客は無料となる。

第2項：キャリア運賃の適用例

★★★ 1. 規則の適用と運賃の計算例

キャリア運賃の各規則の適用と運賃計算の例は以下の通り。運賃例は「JAL Semi-Flex I 運賃」である。(規則・運賃は P88 と 89 を参照)

①旅程

出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
TOKYO (TYO)	— NEW YORK (NYC)	24OCT24(木)	JL006	1110—	1055
Surface (地上運送区間)					
WASHINGTON (WAS)	— CHICAGO (CHI)	01NOV24(金)	AA467	1000—	1110
CHICAGO (CHI)	— LOS ANGELES (LAX)	01NOV24(金)	AA1445	1510—	1735
LOS ANGELES (LAX)	— TOKYO (TYO)	09NOV24(土)	JL061	1155—	1645+1

②クラス・人員：ビジネスクラス・大人1名

③適用運賃：米国行 JAL Semi-Flex I 運賃

④運賃計算上の折り返し地点と旅行形態：往路の終点をニューヨーク (NYC)、復路の始点をワシントン (WAS) とする、オープンジョー旅行

⑤各区間 TPM：TYO - 6739 (PA) - NYC - 221 - WAS - 594 - CHI - 1745 - LAX - 5458 (PA) - TYO

⑥各都市間 MPM (PA)：TYO - NYC 8086 TYO - WAS 8114
TYO - CHI 7539 TYO - LAX 6549

⑦予約の完了日：2024年10月1日(火)

⑧発券の完了日：2024年10月1日(火)

⑨航空券の発券・販売：日本

⑩その他：運賃は本来 NUC で算出するが、計算簡素化のため日本円で算出する

⑪カレンダー

2024年10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2024年11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

(1) 適用規則の確認

①目的地、適用旅客・人数、旅行形態

- 目的地（及び訪問都市）は米国内の都市のみ。大人1名で認められる、資格条件のない個人運賃。オープンジョーの旅行形態は認められている。

②適用期間・運賃

Semi-Flex I 運賃は、往路往復運賃と復路往復運賃が別々に設定されていて、かつ往路運賃と復路運賃のシーズンナリティの適用月日が異なる。

〔適用期間（シーズンナリティ）と曜日運賃〕

- 往路のコンポーネントのシーズンナリティは「往路の国際線出発日」を基準とし、復路のコンポーネントのシーズンナリティは「復路の国際線出発日（北米内の最終地点出発日）」を基準として、それぞれに適用するシーズンナリティを、別々に決定する。
- 曜日運賃も同様に、日本発着国際線の出発日により、往路と復路のそれぞれに適用する曜日運賃を、別々に決定する。

〔往路のコンポーネント：TYO - NYC〕

JL 国際線（TYO - NYC/JL006）の出発日は10月24日（木＝ウィークデイ）なので往路のコンポーネントには「往路運賃」の「10/1～11/2」のシーズンナリティに該当する「TYO - NYC」の「ウィークデイ（X）運賃」を適用する。

〔復路のコンポーネント：WAS - CHI - LAX - TYO〕

JL 国際線（LAX - TYO/JL061）の出発日は11月9日（土＝ウィークエンド）なので復路のコンポーネントには「復路運賃」の「11/1～2/28」のシーズンナリティに該当する「TYO - WAS」の「ウィークエンド（W）運賃」を適用する。

③予約・発券

- 往路と復路の JL 国際線の予約クラスは「I」で、規則に合致。
- 予約は、最初の国際線搭乗日の21日前まで。従って予約の最終期限は、10月3日（ $10/24 - 21 = 10/3$ ）となる。（10/1に予約が完了しているので規則に合致する）
- 発券は、「予約完了後7日以内。ただし、最初の国際線搭乗日の21日前までに行う」となっている。従って以下の通り2つの発券期限がある。

「予約完了後7日以内」= $10/1 + 7 = 10月8日$

「ただし、最初の国際線搭乗日の21日前まで」= $10/24 - 21 = 10月3日$

このように、規則により発券期限が複数あるときは「より厳しい（早い）」日を発券の期限としなければならない。従って10月3日が発券可能な最終日となる。（10/1に発券が完了しているので規則に合致する）

④必要旅行日数

- 規則は「復路の北米内最終地点の出発は最初の日曜日以降」
- X日発・開始のような日数に関する規定ではないが、当該規程のような場合、条件を満たす復路の北米内最終地点（LAX）からの出発は、日本出発（10/24）後の最

初の日曜日にあたる日 = 10月27日(日)以降としなければならない。(11月9日のLAX出発便なので必要旅行日数の条件を満たしている)

⑤最長旅行期間

- 「12ヵ月発・開始」なので、LAXから日本に向けた旅行は、往路出発日(10/24)の12ヵ月後(=1年後)の同日である翌年の10月24日が最長旅行期間の満了日となる。(11月9日のLAX出発便に搭乗=最長旅行期間の満了日前に出発しているので規則に合致する)

⑥途中降機

- 規則は「第1地区内で往路・復路各1回無料で可」
- 往路はTYO - NYCの2都市間の旅程なので、途中降機地点はない。
- 復路はWAS - CHI - LAX - TYOの旅程で、CHIは滞在が24時間以内の乗り継ぎ地点である。(WAS - CHIのAA467便のCHI到着は11/1の11:10、CHI - LAXのAA1445便のCHI発は11/1の15:10)
またLAXは滞在が24時間を超える(CHI - LAXのAA1445便のLAX到着は11/1の17:35、LAX - TYOのJL061便のLAX発は11/9の11:55)途中降機地点であるが、規則から、復路も無料で1回の途中降機が認められている。(=途中降機は無料で可能)

⑦乗り換え

- 「日本国内での乗り換えは往路と復路で各1回可能」(当該旅程は該当なし)「第1地区内で往路・復路各2回可」。(乗り換えには、途中降機と乗り継ぎの両方が含まれる)
- 往路は乗り換え地点がない。
- 復路はWAS - CHI - LAX - TYOでCHIとLAXで乗り換えをする旅程。2回の乗り換えが認められているので、規則に合致する。

⑧経路規定

- 日本発着の国際線はJLを利用している。(条件に合致する)

⑨運賃計算規定

- 「距離計算は行いが、HIPチェックは行わない」となっているのでHIP運賃があっても適用しなくてよいが、マイレージ計算は必要となる。
- 往路は当該規程に関わらず、乗り換えがない2地点間の旅程なので、マイレージ計算もHIPチェックも不要である。
- 復路は中間地点(途中降機地点)があるので、マイレージ計算を行いが、HIPチェックは不要である。

⑩参加航空会社・結合可能運賃

- 米国内はAAを利用している。また、JL国際線区間は往復ともIクラスで、当該運賃以外の運賃との結合はしていない。

全て規則に合致しているので、JAL Semi-Flex I 運賃を適用することができる。

(2) 適用運賃の計算

運賃計算を行う際は、本来は NUC 額を用いて運賃を算出しますが、計算の簡素化と国家試験の出題形式にあわせて、以降の計算例等においては、概ね、日本円の運賃を用いて算出しています。

旅行形態はオープンジョーなので往路と復路の各々に 1/2 往復運賃を適用する。

曜日運賃とシーズンナリティの詳細は、前項 (1) ② - P101 を参照。

① 往路のコンポーネント (TYO - NYC)

- TYO - NYC の 2 都市間の旅程なのでマイレージ計算と HIP チェックは不要。
- 曜日運賃は、ウィークデイ (X) 運賃を適用。
- 出発日は 10/24 なので、往路のコンポーネント (TYO - NYC) の運賃は、「往路運賃」の「10/ 1 ~ 11/ 2」のシーズンナリティに該当する「TYO - NYC の 1/2 ウィークデイ (X) 往復運賃」を適用する。= 770,000 円 × 1/2 = 385,000 円
- JL 国際線 (TYO - NYC) は、JL006 便なので、特定便追加運賃 (片道 10,000 円) が必要となる。

〔往路運賃〕 = 385,000 円 + 10,000 円 = 395,000 円

② 復路のコンポーネント (WAS - CHI - LAX - TYO)

- マイレージ計算：TPM 合計 7797 < MPM 8114 (TYO - WAS/PA) となるので、運賃の割増は不要。
- HIP チェック：運賃計算規定により、不要である。
- 曜日運賃は、ウィークエンド (W) 運賃を適用。
- 復路のコンポーネントのシーズンナリティは「復路の国際線出発日 (11/ 9) を基準」とするので、復路のコンポーネントの通し運賃は、「復路運賃」の「11/ 1 ~ 2/28」のシーズンナリティに該当する「TYO - WAS の 1/2 ウィークエンド (W) 往復運賃」を適用する。= 968,000 円 × 1/2 = 484,000 円
- 復路の途中降機料金 (前項 (1) ⑥ - P102)
LAX は途中降機地点であるが、規則は「1 回無料で可」となっている。復路の途中降機は LAX の 1 回のみなので、途中降機は無料で可能。
- JL 国際線 (LAX - TYO) の JL061 便は、特定便には該当しない。

〔復路運賃〕 = 484,000 円

③ 全旅程の運賃 (①②の合計)：往路 395,000 円 + 復路 484,000 円 = JPY 879,000 円

(3) その他の規則について

「JAL Semi-Flex I 運賃」の、前項以外のその他の規則については、以下のように適用する。

① 予約変更・経路変更

- 「無料で可」。ただし、すでに予約が入っている便の出発時刻までに変更手続きを行う必要がある。

② 取り消し・払い戻し

- 旅行を取りやめた場合、旅行開始前と旅行開始後で取り扱いが異なる。

〔旅行開始前〕旅客が旅行を開始する前（＝航空券は全区間未使用）に旅行を取りやめた（旅行をすべて中止した）ときは、予約便の取り消しの連絡を行った場合と、予約便の取り消しを行わなかった（無連絡の取り消し）場合において、取り扱いが異なる。

1) 予約便の取り消しの連絡を行った場合は、100,000 円（大人）が取り消し手数料の金額となる。

2) 予約便の取り消しの連絡を行わなかった場合は、払い戻し不可。

〔旅行開始後〕旅客が旅行を開始した後（＝航空券の一部の区間を使用）に旅行を取りやめた（旅行を途中で止めた）ときは、払い戻し不可。

③ 小幼児運賃

途中降機料金や追加運賃（Q サーチャージ）も、運賃と同じ割引率を適用することができる。

- 大人に同伴される2歳以上12歳未満の「小児運賃」は、大人運賃の75%。

〔往路運賃〕TYO～NYC（770,000 円×1/2×75%）＝288,750 円

+ 特定便追加運賃（10,000 円×75%）＝7,500 円

〔復路運賃〕TYO～WAS（968,000 円×1/2×75%）＝363,000 円

〔全旅程の運賃〕

往路 296,250 円 + 復路 363,000 円 = 659,250 円となるが、日本円運賃の最小単位は100円（100円単位に切り上げる）なので、659,300円となる。

- 座席を利用しない、大人に同伴される2歳未満の「幼児運賃」は、大人運賃の10%。

〔往路運賃〕TYO - NYC（770,000 円×1/2×10%）＝38,500 円

+ 特定便追加運賃（10,000 円×10%）＝1,000 円

〔復路運賃〕TYO - WAS（968,000 円×1/2×10%）＝48,400 円

〔全旅程の運賃〕

往路 39,500 円 + 復路 48,400 円 = 87,900 円

2. 往路・復路が同一のシーズンリティを適用する運賃

往路と復路が同一のシーズンリティを適用する運賃の場合、シーズンリティの適用や運賃計算の例は、以下の通りである。(予約の完了日等のその他の条件は省略)

1. 旅程

出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
TOKYO (TYO)	- GUAM (GUM)	23DEC24 (月)	NH6456	1100	- 1545
GUAM (GUM)	- TOKYO (TYO)	05JAN25 (日)	NH6457	1245	- 1535

2. クラス・人員：エコノミークラス・大人1人

3. 適用運賃：NH Standard B 運賃

4. 運賃計算上の折り返し地点と旅行形態：折り返し地点を GUM とする往復旅行

- 当該運賃の場合、シーズンリティの適用は「往路の最初の国際線出発日を基準として全旅程に適用する」となっているので、復路も下記②の通り、往路の国際線出発日 (12/23) を基準としたシーズンリティの運賃を適用する。従って往路運賃と復路運賃という区分はない。(往路運賃と復路運賃が別々に設定されることはない。)

① 往路のコンポーネント (TYO - GUM) の運賃

往路の NH 国際線 (NH6456) の出発日 (23DEC) を基準として、シーズンリティと曜日運賃を決定する。

往路国際線の出発日は12月23日(月)なので、TYO - GUM の「10/1 ~ 12/24 のシーズンリティ」に該当する「ウィークデイ (X) 運賃」の126,000円を適用する。(当該運賃の場合、往路の曜日運賃は、どの曜日でもウィークデイ (X) 運賃を適用する。)

往路の運賃を算出するための計算式は、126,000円 × 1/2 となる。(63,000円)

② 復路のコンポーネント (GUM - TYO) の運賃

復路国際線 (NH6457) の出発日は1月5日(日)なので、ウィークエンド (W) 運賃を適用する。また、シーズンリティの適用は「往路の最初の国際線出発日 (12/23) を基準として全旅程に適用する」ので、復路も TYO - GUM の「10/1 ~ 12/24 のシーズンリティ」に該当する「ウィークエンド (W) 運賃」の132,000円を適用する。

* 復路国際線出発日 (1/5) を基準とした (1/3 ~ 1/31 のシーズンリティに該当する) ウィークエンド (W) 運賃 (140,000円) は適用しない。

さらに、復路便搭乗日は1月5日なので、復路便搭乗日追加運賃の36,000円を加算する。

復路の運賃を算出するための計算式は、132,000円 × 1/2 + 36,000円となる。(66,000円 + 36,000円)

③ 全旅程の適用運賃

(往路① 63,000円) + (復路② 66,000円 + 36,000円) = 165,000円が全旅程に適用する運賃となる。

NH **グアム行〈Standard B 運賃〉** (抜粋)

名称・運賃種別	NH Standard B 運賃										
目的地	グアム										
クラス・旅行形態	エコノミークラス往復、オープンジョー										
適用期間・運賃	運賃額詳細は運賃表を参照 シーズナリティの適用：往路の最初の国際線出発日を基準として全旅程に適用する ウィークエンド (W)・ウィークデイ (X) 運賃の適用： 往路：日本国内の最終地点を出発する曜日を基準とし、1/2 往復運賃を適用する。 復路：最終国際線区間を出発する曜日を基準とし、1/2 往復運賃を適用する。										
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>ウィークエンド (W)</td> <td>ウィークデイ (X)</td> </tr> <tr> <td>往路出発</td> <td>-</td> <td>日～土</td> </tr> <tr> <td>復路出発</td> <td>日・月</td> <td>火～土</td> </tr> </table>		ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)	往路出発	-	日～土	復路出発	日・月	火～土
	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)									
往路出発	-	日～土									
復路出発	日・月	火～土									
	復路の旅が特定日に該当する場合、復路便搭乗日追加運賃を Q サーチャージとして加算する。										
予約・発券	予約クラス`B`										

<その他の項目は省略>

Standard B 運賃表 (東京発・抜粋)

(単位：円)

シーズンリティ \ 目的地	GUM グアム	
	W	X
10/1 ~ 12/24	132,000	126,000
12/25 ~ 1/2	203,000	197,000
1/3 ~ 1/31	140,000	134,000
2/1 ~ 3/31	160,000	154,000

復路便搭乗日追加運賃 (抜粋)

復路の旅が下記の特定日に該当する場合、復路便搭乗日追加運賃を Q サーチャージとして加算する。

復路便搭乗日	追加運賃 (片道)
12/31 ~ 1/3	20,000 円
1/4	39,000 円
1/5	36,000 円

★★★ 3. 運賃を結合する場合

往路と復路のコンポーネントに異なる運賃種別（クラス）の運賃を適用して、全旅程の運賃とすることが可能な（運賃の結合が認められる）運賃がある。規則表の「結合可能運賃」の項に記載される他の運賃との結合が可能である。

以下は、往路に「JL Semi-Flex J 運賃」（予約クラス：J）を適用し、復路に「JL Semi-Flex L 運賃」（予約クラス：L）を適用して、異なる種別（クラス）の運賃を結合した場合の適用規則の確認と適用運賃の計算例である。

①旅程

出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
TOKYO(TYO)	- SAN FRANCISCO(SFO)	13DEC24(金)	JL002	1730	0950
SAN FRANCISCO(SFO)	- CHICAGO(CHI)	16DEC24(月)	AA197	1800	2355
Surface(地上運送区間)					
LOS ANGELES(LAX)	- HONOLULU(HNL)	24DEC24(火)	AA283	1035	1440
HONOLULU(HNL)	- TOKYO(TYO)	03JAN25(金)	JL783	1150	1610 + 1

- ②クラス・人員：往路ビジネスクラス／復路エコノミークラス・大人1名
- ③適用運賃：米国行 JL Semi-Flex J 運賃／ JL Semi-Flex L 運賃
- ④運賃計算上の折り返し地点と旅行形態：往路の終点をシカゴ（CHI）、復路の始点をロサンゼルス（LAX）とするオープンジョー旅行
- ⑤ JL 国際線予約クラス：往路（TYO - SFO：JL002）「J クラス」
復路（HNL - TYO：JL783）「L クラス」
- ⑥各区分間 TPM：TYO - 5130（PA） - SFO - 1847 - CHI - 1745 - LAX - 2553
- HNL - 3831（PA） - TYO
- ⑦各都市 MPM（PA）：TYO - SFO 6156、TYO - CHI 7539
TYO - LAX 6549、TYO - HNL 4597
- ⑧予約および発券の完了日：2024年12月2日（月）
- ⑨航空券の発券・販売：日本
- ⑩その他：運賃は本来 NUC で算出するが、計算簡素化のため日本円で算出する
- ⑪カレンダー

2024年12月							2025年1月							2025年2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4							1
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
29	30	31					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	

JL 米国行 < Semi-Flex J > < Semi-Flex L > (抜粋)

名称・運賃種別	Semi-Flex J 運賃	Semi-Flex L 運賃									
目的地	米国（ハワイを除く）(PA)										
適用旅客・人数	個人										
クラス・旅行形態	ビジネスクラス 往復、周回、オープンジョー	エコノミークラス 往復、周回、オープンジョー									
適用期間・運賃	<p>運賃額詳細（特定便追加運賃を含む）は、運賃表を参照</p> <p>ウィークエンド (W)・ウィークデイ (X) 運賃の適用： 往路：日本国内の最終地点を出発する曜日を基準とし、1/2 往復運賃を適用する 復路：北米内の最終地点を出発する曜日を基準とし、1/2 往復運賃を適用する</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>ウィークエンド (W)</td> <td>ウィークデイ (X)</td> </tr> <tr> <td>往路出発</td> <td>土～月</td> <td>火～金</td> </tr> <tr> <td>復路出発</td> <td>金・土</td> <td>日～木</td> </tr> </table> <p>旅程にホノルルが含まれる場合は、片道につき大人 30,000 円、小児 22,500 円、幼児 3,000 円の Q サーチャージが途中降機の有無に関わらず加算される</p>			ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)	往路出発	土～月	火～金	復路出発	金・土	日～木
	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)									
往路出発	土～月	火～金									
復路出発	金・土	日～木									
予約・発券	<p>①予約クラス：“J”</p> <p>②発券は以下の期限までに行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予約が最初の国際線搭乗日の 22 日以前：最初の国際線搭乗日の 14 日前まで ・予約が最初の国際線搭乗日の 21 日～出発前：予約完了後 7 日以内 	<p>①予約クラス：“L”</p> <p>②予約は最初の国際線搭乗日の 7 日前までに行う</p> <p>③発券は以下の期限までに行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予約が最初の国際線搭乗日の 29 日以前：予約完了後 7 日以内 ・予約が最初の国際線搭乗日の 28 日～7 日前：予約完了後 3 日以内 <p>ただし最初の国際線搭乗日の 7 日前まで</p>									
必要旅行日数	3 日発・開始（復路の太平洋横断旅行は、往路の太平洋横断旅行出発後 3 日目で降機）	3 日発・開始（復路の太平洋横断旅行は、往路の太平洋横断旅行出発後 3 日目で降機）									
最長旅行期間	12 ヶ月発・開始	12 ヶ月発・開始									
途中降機	第 1 地区内で往路・復路各 1 回無料で可										
乗り換え	第 1 地区内で往路・復路各 2 回可										
経路規定	日本発着国際線区間は日本航空 (JL) に限る										
運賃計算規定	距離計算は行いが、HIP チェックは行わない										
結合可能運賃	1/2 Semi-Flex L 運賃	1/2 Semi-Flex J 運賃									
予約変更 経路変更	<p>発券、必要旅行日数、最長旅行期間、取り消し・払い戻しについては、結合されるより厳しい運賃規則が全旅程に適用される。</p> <p>適用期間、途中降機、乗り換え、経路規定、運賃計算規定、予約変更・経路変更については、フェアコンポーネントごとの運賃規則が適用される。</p> <p>ただし、変更料金については、旅程内の変更したすべてのフェアコンポーネントの中でもっとも高い額が適用される</p> <p>無料で可。すでに予約が入っている便の出発時刻までに手続きを行うこと。変更の結果生じる差額調整は行うこと</p>										
取り消し 払い戻し	<p>〔旅行開始前〕</p> <p>①往路の最初の区間の予約便出発時刻より前に取り消しの連絡を行った場合 大人 100,000 円、小児 75,000 円を取り消し手数料として收受し、残額を払い戻す</p> <p>②予約便の取り消しを行わなかった場合 払い戻し不可</p> <p>〔旅行開始後〕 払い戻し不可</p>	<p>〔旅行開始前〕</p> <p>①往路の最初の区間の予約便出発時刻より前に取り消しの連絡を行った場合 大人 50,000 円、小児 37,500 円を取り消し手数料として收受し、残額を払い戻す</p> <p>②予約便の取り消しを行わなかった場合 払い戻し不可</p> <p>〔旅行開始後〕 払い戻し不可</p>									

Semi-Flex J 運賃表

(抜粋)

出発地	東京・名古屋・大阪 (単位:円)					
目的地 シーズンリティ	LAX ロサンゼルス		SFO サンフランシスコ		CHI シカゴ	
	W	X	W	X	W	X
10/1 ~ 3/31	1,266,000	946,000	1,337,000	1,017,000	1,497,000	1,177,000

Semi-Flex L 運賃表

(抜粋)

往路運賃：往路の国際線出発日を基準として、往路の旅程に適用する

復路運賃：復路の北米内の最終地点出発日を基準として、復路の旅程に適用する

【往路運賃】

出発地	東京・名古屋・大阪 (単位:円)					
目的地 シーズンリティ	LAX ロサンゼルス		SFO サンフランシスコ		CHI シカゴ	
	W	X	W	X	W	X
10/1 ~ 12/23	312,000	292,000	322,000	302,000	334,000	314,000
12/24 ~ 12/30	372,000	352,000	382,000	362,000	394,000	374,000
12/31 ~ 3/31	312,000	292,000	322,000	302,000	334,000	314,000

【復路運賃】

出発地	東京・名古屋・大阪 (単位:円)					
目的地 シーズンリティ	LAX ロサンゼルス		SFO サンフランシスコ		CHI シカゴ	
	W	X	W	X	W	X
10/1 ~ 12/31	312,000	292,000	322,000	302,000	334,000	314,000
1/1 ~ 1/6	372,000	352,000	382,000	362,000	394,000	374,000
1/7 ~ 3/31	312,000	292,000	322,000	302,000	334,000	314,000

特定便追加運賃

搭乗便が下記に該当する場合、特定便追加運賃をQサーチャージとして追加する (小幼児割引適用)

運賃種別 搭乗便	加算額 (片道)	
	Semi-Flex J	Semi-Flex L
JL001/002/005/006	20,000円	7,500円

(1) 適用規則の確認

運賃を結合する場合、各規則は以下のように適用する。(詳細は P97)

- ◆予約の期限が過ぎた運賃は、全旅程に適用できない。=他の運賃との結合は不可。
- ◆発券、必要旅行日数、最長旅行期間、取り消し・払い戻しについては、全旅程により 厳しい規則が適用される。
- ◆適用期間、途中降機、乗り換え、経路規定、運賃計算規定、予約変更・経路変更については、フェアコンポーネント(運賃計算区間)ごとの規則が適用される。

①適用期間・運賃

- 適用期間・運賃は、フェアコンポーネントごとの規則が適用される。
- Semi-Flex J 運賃のシーズンリティは一つだが、Semi-Flex L 運賃は、往路運賃と復路運賃が設定されており、かつ往路と復路のシーズンリティが複数設定されていて、その適用方が異なるので注意が必要である。
- 両運賃とも往路と復路のそれぞれの JL 国際線の出発日(曜日)により、曜日運賃(ウィークエンドとウィークデイ)を決定する。
- 両運賃とも、ハワイを目的地とすることはできないが、HNLでの乗り換えは可能である。ただし、旅程にHNLが含まれるときは、途中降機・乗り継ぎに関わりなく、Qサーチャージ(大人は片道30,000円)の支払いが必要となる。
- 両運賃とも、JL国際線の搭乗便による特定便追加運賃の設定があり、該当便に搭乗する場合、「Semi-Flex J 運賃」は片道20,000円、「Semi-Flex L 運賃」は片道7,500円の支払いが必要となる。

②予約・発券

【予約】

「Semi-Flex L 運賃」は、最初の国際線(TYO - SFO)搭乗日(12/13)の7日前までに予約を行う必要がある。(Semi-Flex J 運賃は予約の期限についての記載がないので、出発前までに予約を行えばよい。)

従って、12月6日(12/13 - 7)において予約が完了していない場合、「Semi-Flex L 運賃」は全旅程に適用できない。=2つの運賃を結合することはできない。

【発券】

- 発券は、より厳しい規則(=「早い方の期日」)を全旅程に適用する。
- 「Semi-Flex J 運賃」の場合、予約の完了日(12/ 2)は、最初の国際線搭乗日(12/13)の11日前にあたるので、発券が可能な最終日(発券の期限)は、“最初の国際線搭乗日の21日~出発前”の規則「予約完了後7日以内」を適用する。
・予約完了後7日以内は、12/ 2 + 7 = 12月9日
- 「Semi-Flex L 運賃」の場合、予約の完了日は、最初の国際線搭乗日の11日前にあたるので、発券が可能な最終日は、“最初の国際線搭乗日の28日~7日前”の規

則「予約完了後3日以内、ただし最初の国際線搭乗日の7日前まで」となる。

ただし書きにより、以下の2つの期限がある。

1) 予約完了後3日以内は、 $12/2 + 3 = 12月5日$

2) 最初の国際線搭乗日 (12/13) の7日前は、 $12/13 - 7 = 12月6日$

- 以上から「Semi-Flex L 運賃」の1)の規則が、最も早い期日 (=より厳しい規則)となるので、2つの運賃を結合する場合の航空券の発券が可能な最終日は、「12月5日」となる。

当該旅程の発券の完了日は、12月2日なので、適用条件を満たすが、航空券の発券が12月6日以降となる場合は、「Semi-Flex L 運賃」は適用不可となるので、両運賃を結合することはできない。

③必要旅行日数

- より厳しい規則 (=「より長い期間」)を全旅程に適用する。

「Semi-Flex J 運賃」の規則も「Semi-Flex L 運賃」の規則も「3日発・開始 (復路の太平洋横断旅行は、往路の太平洋横断旅行出発後3日目以降)」なので、条件を満たす日は、 $12/13 + 3 = 「12月16日」$ である。

当該旅程の復路の太平洋横断旅行 (HNL - TYO) (注) の出発は1月3日なので、適用条件を満たすが、仮に「Semi-Flex L 運賃」の規則が「28日発・開始」となっている場合は、1月10日 ($12/13 + 28 = 12/41 = \text{HNL 発は} 1/10 \text{ 以降でなければならない}$) が必要旅行日数の条件を満たす日付となるので、「Semi-Flex L 運賃」は適用不可となる。=両運賃を結合することはできない。

(注) 当該旅程のように、太平洋上空を飛行する区間が複数ある (LAX - HNL と HNL - TYO) 場合には、日本へ向けた最後の区間 (HNL - TYO=TC1 - TC3の区間) を出発する日を基準とする。

④最長旅行期間

- より厳しい規則 (=短い方の期間)を全旅程に適用する。

「Semi-Flex J 運賃」の規則も「Semi-Flex L 運賃」の規則も「12ヵ月発・開始」なので12月13日から数えて12ヵ月 (=1年) 後の同日にあたる「2025年12月13日」が最長旅行期間の満了日となる。

仮に「Semi-Flex L 運賃」の規則が「1ヵ月発・開始」という規則である場合、全旅程に適用される最長旅行期間 (復路の最後の地点である HNL からの出発) は、1ヵ月後の1月13日となる。従って HNL 発の日付が1月14日以降となる場合は、「Semi-Flex L 運賃」は適用不可となる。=両運賃を結合することはできない。

⑤途中降機

- フェアコンポーネントごとの規則が適用される。両運賃の規則は、ともに「往路・復路各1回無料で可」である。全旅程の途中降機は、往路が SFO、復路が HNL の各1回なので、両運賃とも適用が可能である。

仮に「Semi-Flex L 運賃」の規則が「往路・復路各1回可（1回につき10,000円）」という規則である場合、Semi-Flex L 運賃を適用する復路のコンポーネントは、途中降機料金（10,000円）の支払いが必要となる。

⑥乗り換え

- フェアコンポーネントごとの規則が適用される。両運賃の規則は、ともに「往路・復路各2回可」である。全旅程の乗り換えは、往路がSFO、復路がHNLの各1回なので、両運賃とも適用が可能である。

仮に「Semi-Flex L 運賃」の規則が「往路・復路各1回可」となっている場合でも、復路の乗り換えはHNLの1回なので、復路にSemi-Flex L 運賃を適用する場合でも、両運賃の結合は可能である。

⑦経路規定

- フェアコンポーネントごとの規則が適用される。両運賃の規則は、ともに「日本発着国際線区間は日本航空（JL）に限る」となっているが、往路と復路は、ともにJLを利用しているので、両運賃とも適用が可能である。

仮に両運賃の規則が異なる場合でも、コンポーネントごとの経路・旅程・利用航空会社などが当該規則に合致していれば、両運賃の結合は可能である。

⑧運賃計算規定

- フェアコンポーネントごとの規則が適用される。両運賃の規則は、ともに「距離計算は適用するが、HIPチェックは行わない」である。

仮に「Semi-Flex L 運賃」の規則が「距離計算・HIPチェックは行わない」となっている場合、Semi-Flex L 運賃を適用している復路のコンポーネントは、HIPチェックとマイルージ計算は不要となる。=コンポーネントごとに当該規則に合致する運賃計算を行えば、両運賃の結合は可能である。

(2) 適用運賃の計算

旅行形態はオープンジョーなので、各々のコンポーネントに1/2往復運賃を適用する。ただし Semi-Flex L 運賃は、往路運賃と復路運賃の設定があり、それぞれのシーズンリティの適用日が異なるので注意が必要となる。

①往路：TYO - SFO - CHI

- JL 国際線 (TYO - SFO/JL002 便) の予約クラスは「J」なので、往路のコンポーネント (TYO - CHI) の通し運賃は「Semi-Flex J 運賃」を適用する。
- マイレージ計算：TPM 合計は 6977 < MPM (TYO - CHI/PA) 7539 なので、運賃の割り増しは不要。
- 日本国内の最終地点を出発する日は、12/13 (金曜日) なので、TYO - CHI の 1/2 ウィークデイ (X) 運賃を適用する。= 1,177,000円 × 1/2 = 588,500 円
- 前項 (1) ⑤ (P111) の通り、SFO の途中降機は無料で可能である。
- JL の国際線区間 (TYO - SFO) は JL002 便に搭乗するので、「特定便追加運賃」(Semi - Flex J 運賃は片道 20,000 円) が必要となる。
- 従って往路の運賃は 588,500 円 + 20,000 円 = 608,500 円となる。

②復路：LAX - HNL - TYO

- JL 国際線 (HNL - TYO/JL783 便) の予約クラスは「L」なので、復路のコンポーネント (LAX - TYO) の通し運賃は「Semi-Flex L 運賃」を適用する。
- マイレージ計算：TPM 合計は 6384 < MPM (TYO - LAX/PA) 6549 なので、運賃の割り増しは不要。
- 北米内の最終地点からの出発日は、1/3 (金曜日) なので、TYO - LAX の 1/2 ウィークエンド (W) 運賃を適用する。
ただし Semi-Flex L 運賃には、往路運賃と復路運賃が別々に設定されていて、かつ復路運賃は「復路の北米内の最終地点出発日 (HNL - TYO 発 1/3) を基準として復路の旅程に適用する」ので、「復路運賃の 1/1 ~ 1/6 のシーズンリティに該当する TYO - LAX のウィークエンド (W) 運賃」× 1/2 が復路の適用運賃となる。
= 372,000 円 × 1/2 = 186,000 円
- 前項 (1) ⑤ (P111) の通り、HNL での途中降機は無料で可能であるが、旅程にホノルルが含まれるコンポーネントの場合、前項 (1) ① (P110) により「Q サーチャージ (片道 30,000 円)」の支払いが必要となる。
- 復路の JL 国際線 (HNL - TYO) の JL783 便は「特定便」に該当しないので、特定便追加運賃は不要。
- 従って復路の運賃は 186,000 円 + 30,000 円 = 216,000 円となる。

③全旅程の運賃 (①②の合計額)

- 往路 608,500 円 + 復路 216,000 円 = 824,500 円

(3) その他の規則について

運賃を結合した場合の、前項(1)(2)以外のその他の規則については、以下のよう
に適用する。

① 予約変更・経路変更

- フェアコンポーネントごとの規則が適用される。
- 「Semi-Flex J 運賃」の規則も「Semi-Flex L 運賃」の規則も「無料で可」とな
っているので、すでに予約が入っている便の出発時刻までに変更手続きを行えば、予
約の変更は可能である。

仮に「Semi-Flex L 運賃」の規則が「不可」という規則である場合、復路につい
ては予約の変更はできない。従って、復路も予約の変更を行う(予定している)
場合、復路も「Semi-Flex J 運賃」を適用しなければならない。

② 取り消し・払い戻し

- より厳しい規則を全旅程に適用する。

予約を取り消して航空券の払い戻しをする場合は、両運賃とも取り消しの時期(旅
行開始前と旅行開始後)により、払い戻しの取り扱いや取り消し手数料の金額が異
なるので、注意が必要である。

〔旅行開始前〕旅客が旅行を開始する前(=航空券の全区間が未使用)に旅行を中止し、
全区間の予約を取り消すことをいう。

- 1) 予約便の取り消しの連絡を行った場合、手数料が最も高額な「Semi-Flex
J 運賃」の規則である 100,000 円(大人)が、取り消し手数料の金額と
なる。(Semi-Flex L 運賃の規則は 50,000 円(大人)である。)
- 2) 予約便の取り消しの連絡を行わなかった場合、「Semi-Flex J 運賃」の
規則も「Semi-Flex L 運賃」の規則も「払い戻し不可」である。

〔旅行開始後〕旅客が旅行を開始した後(=航空券の一部の区間を使用)に旅行を中
断(途中で中止)し、以降の区間の予約を取り消すことをいう。

「Semi-Flex J 運賃」の規則も「Semi-Flex L 運賃」の規則も「払い戻
し不可」である。

覚えるポイント

<p>キャリア運賃</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各航空会社が、自社で独自に設定する運賃である。 ・利用航空会社が限定される。 ・普通運賃と特別運賃の2種類がある。 ・運賃種別や適用規則は、各航空会社で異なる。
<p>マイルージ計算</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●マイルージ計算の基本は、原則 IATA の運賃計算規則と同じ。 ・マイルージ計算 (TPM Deduction 等の特例を含む) は、原則 IATA の運賃計算規則を用いる。 ・運賃計算規定がある場合は、その規定を適用する。
<p>旅行形態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●規則に定められた目的地・旅程・旅行形態としなければならない。 ・旅行形態が限定される運賃が多いが、片道旅程が可能な運賃もある。 ・旅行形態が RT、OJ、CT の場合、往路・復路に 1/2 往復運賃を適用する。
<p>運賃の適用</p>	<p>[適用運賃]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コンポーネントに適用する運賃は、予約クラス、日本発着国際線の出発日・曜日、追加運賃の要・不要などを勘案して決定する。 ●日本円の運賃額は、「100 円単位」とする。 ・運賃割増等により 100 円未満の数値となるときは、100 円単位に切り上げる。 <p>[シーズンリティ] (適用期間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●往路往復運賃と復路往復運賃が別々に設定される運賃は、往路は「往路の国際線出発日」を基準とし、復路は「復路の国際線出発日」を基準として、それぞれのシーズンリティの適用日を決定する。 ・往路運賃と復路運賃は、別々のシーズンリティの運賃を適用する。 ●一部の運賃は「往路の国際線出発日」を基準としたシーズンリティの運賃を適用する。 ・往路と復路は同じシーズンリティの運賃を適用する。 <p>[曜日運賃] ウィークエンド (週末) 運賃 = W、ウィークデイ (平日) 運賃 = X</p> <ul style="list-style-type: none"> ●曜日運賃は、往路と復路のコンポーネントごとに決定する。 ・往路は日本の最終地点を出発する曜日で決定する。 ・復路は日本に向けた最終地点を出発する曜日で決定する。 (ただし目的地や運賃種類で、各々の曜日決定の詳細は異なる) <p>[追加運賃]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●出発日や搭乗便により追加運賃 (Q サージ) の加算が必要な運賃がある。 ・特定便追加運賃：日本発着の国際線搭乗便名による加算運賃。 ・特定日追加運賃：日本発着の国際線出発日による加算運賃。 ・搭乗曜日追加運賃：日本発着の国際線出発曜日による追加運賃。
<p>予約・発券</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●予約の期日や、発券の期日 (発券が可能な最終日) が定められている。 ・運賃種類により、適用規則や期日は異なる。 ・発券に関して、規則により複数の期日や期限が存在する場合、より (最も) 早い期日を、発券可能な最終日としなければならない。
<p>必要旅行日数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●最低限必要な (最短の) 旅行可能日数を定めたもの。 ・日本の国際線旅行開始日の翌日から起算する。当該日の 0 時 01 分以降に最終途中降機地点 (途中降機地点がない場合は折り返し地点) から、日本にむけた旅行開始が可能。 ・土曜日の滞在が必要、などの条件が付される場合があるので要注意。
<p>最長旅行期間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●最大限 (最長) の滞在可能日数 (期間) を定めたもの。 ・航空券の最初の出発日 (日本国内線を含む) を起算日の基準とする。当該日の 24 時まで最終途中降機地点 (途中降機地点がない場合は折り返し地点) から日本にむけた旅行を開始しなければならない。

途中降機	<ul style="list-style-type: none"> ● 24 時間を超える滞在をいう。(24 時間以内の滞在は乗り継ぎ) <ul style="list-style-type: none"> ・ コンポーネントの始点と終点、及び折り返し地点は途中降機地点としない。 ・ 途中降機料金の加算方法や加算額などは、運賃種類により異なる。
乗り換え	<ul style="list-style-type: none"> ● 運賃毎に各種の規定があり、適用にあたってはそれに従う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 回数の制限や限定などが記載される。 ・ コンポーネントの始点と終点、及び折り返し地点は、乗り換えに含めない。
経路規定	<ul style="list-style-type: none"> ● 運賃毎に各種の規定があり、適用にあたってはそれに従う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際線や国内線の利用航空会社の限定、および経路 (GI)、経由地などに関連する規定 (規則) が記載される。
運賃計算規定	<ul style="list-style-type: none"> ● 運賃毎に各種の規定があり、適用にあたってはそれに従い運賃計算 (マイルージ計算、HIP チェックなど) を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 乗継地点までからの運賃は、HIP チェック (比較) の対象外。
結合可能運賃	<ul style="list-style-type: none"> ● 往路と復路に、異なる種別 (クラス) の運賃を適用 (結合) して、全旅程の運賃とすることができる運賃がある。 ● 予約の期限が過ぎた運賃は、全旅程において適用運賃とすることはできない。 = 他の運賃との結合は不可である。 ● 結合しようとする運賃同士の適用規則が異なる場合、各規則の取り扱いは以下に大別される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全旅程により厳しい規則を適用する項目 ・ フェアコンポーネント (運賃計算区間) ごとの規則を適用する項目 特に明記がない限り、以下のように取り扱う。 ● 発券、必要旅行日数、最長旅行期間、取り消し・払い戻しについては、<u>全旅程により厳しい規則が適用される。</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予約・発券：「より早い時期」を全旅程に適用する。 ・ 必要旅行日数：「より長い期間」を全旅程に適用する。 ・ 最長旅行期間：「より短い期間」を全旅程に適用する。 ・ 取り消し・払い戻し：「より高額な手数料」を全旅程に適用する。 ● 適用期間、途中降機、乗り換え、経路規定、運賃計算規定、予約変更・経路変更については、<u>フェアコンポーネント (運賃計算区間) ごとの規則が適用される。</u>
小幼児運賃	<ul style="list-style-type: none"> ● 適用年齢の基準は、原則 IATA の規則と同じ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に明記がない限り、運賃計算の適用規則は大人と同じ。
予約変更 経路変更	<ul style="list-style-type: none"> ● 運賃毎に各種の規定があり、適用にあたってはそれに従う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 可能なもの、不可のもの、料金を必要とするもの等、各種の規定がある。
取り消し 払い戻し	<ul style="list-style-type: none"> ● 運賃毎に各種の規定があり、適用にあたってはそれに従う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 払い戻しは、取り消しが旅行開始前、旅行開始後の場合など、各種のケースにより、料金が異なる等、各種の規定がある。

理解度チェックー6

(解答は P.160 ~ 178)

第 14 問. 下記の適用条件に基づき、資料を参照して、各設問に答えなさい。

1. 旅程 (e チケットお客様控え - 抜粋)

e チケットお客様控え			
旅程表 ITINERARY			
出発/到着日時 DATE/TIME	都市/空港 (ターミナル) CITY/AIRPORT	航空会社/便/クラス AIRLINE/FLIGHT/CLS	予約 STATUS
08NOV (FRI) 0100 08NOV (FRI) 0555	TOKYO/HANEDA BANGKOK/SUVARNABHUMI	ALL NIPPON AIRWAYS NH 849 / H	OK
12NOV (TUE) 1300 12NOV (TUE) 1430	BANGKOK/SUVARNABHUMI KO SAMUI	BANGKOK AIRWAYS PG 216 / T	OK
18NOV (MON) 1415 18NOV (MON) 2215	KUALA LUMPUR TOKYO/HANEDA	ALL NIPPON AIRWAYS NH 886 / V	OK

2. クラス・人員：エコノミークラス・大人 1 名
3. 適用運賃：NH Value H/Q/V/W/S 運賃
4. 運賃計算上の折り返し地点と旅行形態：往路の終点をサムイ (USM：タイ)、復路の始点をクアラルンプール (KUL：マレーシア) とするオープンジョー旅行
5. NH 国際線予約クラス：往路 (HND - BKK：NH849) 「H クラス」
復路 (KUL - HND：NH886) 「V クラス」
* PG の予約クラスは、規則に合致するものとする
6. 各区間の TPM と各都市間の MPM：運賃計算規定により省略
7. 予約と発券の完了日：2024 年 11 月 2 日 (土)
8. 航空券の発券・販売：日本
9. その他：運賃は本来 NUC で算出するが、問 1. と問 2. は計算簡素化のため日本円で算出する
10. カレンダー

2024 年 11 月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

第14問一資料

NH 東南アジア行 < Value H/Q/V/W/S > (抜粋)

名称・運賃種別	Value H 運賃	Value Q 運賃	Value V 運賃	Value W 運賃	Value S 運賃
目的地	東南アジア				
適用旅客・人数	個人				
クラス・旅行形態	エコノミークラス往復、オープンジョー				
適用期間・運賃	詳細は運賃表を参照 特定便に該当する場合、特定便追加運賃をQサーチャージとして、それぞれの額を追加する				
予約・発券	①予約クラス：“H” ①予約クラス：“Q” ①予約クラス：“V” ①予約クラス：“W” ①予約クラス：“S” ②予約は旅行開始の5日前までに行う ③発券は以下の期限までに行う ・予約が旅行開始の29日以前：予約後7日以内 ・予約が旅行開始の28～5日前：予約後3日以内。ただし旅行開始の5日前まで				
必要旅行日数	2日発・開始				
最長旅行期間	6ヵ月発・開始				
途中降機	タイ行はBKKで往路・復路各1回可、マレーシア行はKUL、SINで往路・復路各1回可（1回につき7,000円）				
乗り換え	タイ行はBKKで往路・復路各1回可、マレーシア行はKUL、SINで往路・復路各1回可				
経路規定	①日本発着国際線区間は全日空（NH）に限る ②その他の区間は全日空（NH）のコードシェア便または指定経路上の航空会社（PG、SQ、TGなど）の運航便に限る				
運賃計算規定	指定経路型運賃であり、距離計算、HIPチェックは適用しない				
結合可能運賃	①当該運賃用タイ国内アドオン運賃 ②1/2 Value H/Q/V/W/S 運賃 発券、必要旅行日数、最長旅行期間、取り消し・払い戻しについては結合されるより厳しい運賃規則が全旅程に適用される。ただし適用期間、途中降機、乗り換え、経路規定、運賃計算規定、予約変更・経路変更については、フェアコンポーネントごとの運賃規則が適用される。				
小幼児運賃	小児は大人運賃の75%、幼児は大人運賃の10%				
取り消し 払い戻し	払い戻し不可				

東南アジア行 Value 運賃表

(抜粋)

出発地	東京 (単位：円)		
	目的地	BKK バンコク	KUL クアラルンプール
10/1～3/31	Value H	192,000	197,000
	Value Q	143,000	148,000
	Value V	110,000	117,000
	Value W	82,000	89,000
	Value S	69,000	76,000

タイ国内加算運賃 (Add - On Fare)

以下の都市はBKK+ 加算運賃で利用可

設定都市 (抜粋)	加算額 (往復)
ブーケット HKT (PHUKET)	8,000 円
チェンマイ CNX (CHIANG MAI)	8,000 円
サムイ USM (KO SAMUT)	10,000 円

特定便追加運賃

日本発着国際線搭乗便が下記に該当する場合、特定便追加運賃 (片道) をQサーチャージとして追加する (単位：円)

搭乗便	Value H	Value Q	Value V	Value W	Value S
往路	NH847	6,500	6,500	6,500	6,500
	NH885	2,500	2,500	2,000	2,000
復路	NH850	6,500	6,500	6,500	6,500
	NH886	2,500	2,500	2,000	2,000

第15問. 下記の適用条件に基づき、資料を参照して、各設問に答えなさい。

1. 旅程

出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
NARITA (TYO)	FRANKFURT (FRA)	23DEC(月)	JL 407	1040	1700
FRANKFURT (FRA)	ATHENS (ATH)	26DEC(木)	LH 1278	0950	1335
ATHENS (ATH)	LONDON (LON)	02JAN(木)	BA 631	0910	1115
LONDON (LON)	HANEDA (TYO)	04JAN(土)	JL 044	1830	1720+1

※各区間の利用航空会社と利用クラスは、適用する運賃規則に合致するものとする

2. クラス・人員：ビジネスクラス/エコノミークラス・大人1名
3. 適用運賃：この旅程に適用する運賃は下記の2種類とする
 - JAL Semi-Flex D 運賃
 - JAL Semi-Flex V 運賃
4. 運賃計算上の折り返し地点と旅行形態：

折り返し地点をアテネ (ATH) とする往復旅行または周回旅行
5. 各区間 TPM：TYO - 5929 (TS) - FRA - 1129 - ATH - 1500 - LON - 6220 (TS) - TYO
6. 各都市 MPM (TS)：TYO - FRA 7480、TYO - ATH 7309、TYO - LON 7468
7. 予約と発券の完了日：省略
8. 航空券の発券・販売：日本
9. その他：運賃は本来 NUC で算出するが、計算簡素化のため日本円で算出する
10. カレンダー

2024年12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2025年1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

問1. この全旅程に「JAL Semi-Flex D 運賃」を適用した場合、往路に適用する運賃を算出するための計算式で、正しいものはどれか。(途中降機料金や特定便追加運賃が必要な場合は計算式に含める)

- A. $800,000 \text{ 円} \times 1/2$
- B. $800,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円}$
- C. $1,060,000 \text{ 円} \times 1/2$
- D. $1,060,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円} + 20,000 \text{ 円}$

【解答： 】

問2. この全旅程に「JAL Semi-Flex D 運賃」を適用した場合、復路に適用する運賃を算出するための計算式で、正しいものはどれか。(途中降機料金や特定便追加運賃が必要な場合は計算式に含める)

- A. $1,060,000 \text{ 円} \times 1/2$
- B. $1,060,000 \text{ 円} \times 1/2 \times 1.10$
- C. $1,060,000 \text{ 円} \times 1/2 \times 1.10 + 20,000 \text{ 円}$
- D. $1,060,000 \text{ 円} \times 1/2 \times 1.10 + 10,000 \text{ 円} + 20,000 \text{ 円}$

【解答： 】

問3. この全旅程に「JAL Semi-Flex V 運賃」を適用した場合、往路に適用する運賃を算出するための計算式で、正しいものはどれか。(途中降機料金や特定便追加運賃が必要な場合は計算式に含める)

- A. $220,000 \text{ 円} \times 1/2$
- B. $220,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円}$
- C. $240,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円}$
- D. $240,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円} + 5,000 \text{ 円}$

【解答： 】

問4. この全旅程に「JAL Semi-Flex V 運賃」を適用した場合、復路に適用する運賃を算出するための計算式で、正しいものはどれか。(途中降機料金や特定便追加運賃が必要な場合は計算式に含める)

- A. $240,000 \text{ 円} \times 1/2$
- B. $240,000 \text{ 円} \times 1/2 \times 1.10 + 5,000 \text{ 円}$
- C. $280,000 \text{ 円} \times 1/2 \times 1.10 + 10,000 \text{ 円}$
- D. $280,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円} + 5,000 \text{ 円}$

【解答： 】

第15問-資料

JL	ヨーロッパ行 < Semi-Flex D > < Semi-Flex V >	(抜粋)
----	---	------

名称・運賃種別	Semi-Flex D 運賃	Semi-Flex V 運賃																		
目的地	ヨーロッパ (TS)																			
適用旅客・人数	個人																			
クラス・旅行形態	ビジネスクラス往復、周回、オープンジョー	エコノミークラス往復、周回、オープンジョー																		
適用期間・運賃	①運賃額詳細 (特定便追加運賃を含む) は運賃表を参照 ②ウィークエンド (W)・ウィークデイ (X) 運賃の適用: <往路> 日本国内の最終地点を出発する曜日を基準とし、1/2 往復運賃を適用する <復路> ヨーロッパ内の最終地点を出発する曜日を基準とし、1/2 往復運賃を適用する																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ウィークエンド (W)</th> <th>ウィークデイ (X)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>往路出発</td> <td>土~月</td> <td>火~金</td> </tr> <tr> <td>復路出発</td> <td>金・土</td> <td>日~木</td> </tr> </tbody> </table>		ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)	往路出発	土~月	火~金	復路出発	金・土	日~木	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ウィークエンド (W)</th> <th>ウィークデイ (X)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>往路出発</td> <td>土・日</td> <td>月~金</td> </tr> <tr> <td>復路出発</td> <td>金・土</td> <td>日~木</td> </tr> </tbody> </table>		ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)	往路出発	土・日	月~金	復路出発	金・土	日~木
	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)																		
往路出発	土~月	火~金																		
復路出発	金・土	日~木																		
	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)																		
往路出発	土・日	月~金																		
復路出発	金・土	日~木																		
予約・発券	①予約クラス: "D" ②予約・発券の期日 (省略)	①予約クラス: "V" ②予約・発券の期日 (省略)																		
必要旅行日数	制限なし	2日発・開始																		
最長旅行期間	12ヵ月発・開始																			
途中降機	ヨーロッパ内で往路・復路各1回無料で可	ヨーロッパ内で往路・復路各1回可 (1回につき 10,000 円)																		
乗り換え	ヨーロッパ内で往路・復路各2回可	ヨーロッパ内で往路・復路各1回可																		
経路規定	日本発着国際区間は日本航空 (JL) に限る																			
運賃計算規定	距離計算は行いが、HIP チェックは行わない	経路指定型運賃であり、距離計算、HIP チェックは行わない																		

Semi-Flex D 運賃表 (抜粋)

出発地	東京 (単位: 円)			
目的地	FRA フランクフルト LON ロンドン		ATH アテネ	
シーズンリティ	W	X	W	X
10/1 ~ 3/31	980,000	720,000	1,060,000	800,000

Semi-Flex V 運賃表 (抜粋)

往路運賃: 往路の国際線出発日を基準として往路の旅程に適用する
 復路運賃: 復路のヨーロッパ内の最終地点の出発日を基準として復路の旅程に適用する

〔往路運賃〕

出発地	東京 (単位: 円)			
目的地	FRA フランクフルト LON ロンドン		ATH アテネ	
シーズンリティ	W	X	W	X
10/1 ~ 12/28	220,000	200,000	240,000	220,000
12/29 ~ 1/7	260,000	240,000	280,000	260,000
1/8 ~ 3/31	220,000	200,000	240,000	220,000

〔復路運賃〕

出発地	東京 (単位: 円)			
目的地	FRA フランクフルト LON ロンドン		ATH アテネ	
シーズンリティ	W	X	W	X
10/1 ~ 1/1	220,000	200,000	240,000	220,000
1/2 ~ 1/7	260,000	240,000	280,000	260,000
1/8 ~ 3/31	220,000	200,000	240,000	220,000

特定便追加運賃

搭乗便が下記特定便に該当する場合、特定便追加運賃をQサーチャージとして加算する。

搭乗便		Semi-Flex D	Semi-Flex V
		加算額 (片道)	加算額 (片道)
往路	JL043/045	20,000 円	5,000 円
復路	JL044/046	20,000 円	5,000 円

第4章

第 16 問. 下記の適用条件に基づき、資料 1、2 を参照して、各設問に答えなさい。

1. 旅程

出発	到着	搭乗日	便名	
TOKYO (TYO)	— LOS ANGELES (LAX)	23DEC(月)	①JL062	②NH006
LOS ANGELES (LAX)	— NEW YORK (NYC)	26DEC(木)	①AA172	②UA779
Surface				
CHICAGO (CHI)	— SAN FRANCISCO (SFO)	03JAN(金)	①AA241	②UA625
SAN FRANCISCO (SFO)	— TOKYO (TYO)	06JAN(月)	①JL001	②NH007

2. クラス・人員：エコノミークラス・大人 1 名

3. 適用運賃：この全旅程に適用する運賃は下記 2 種類とする

①の旅程：JL 米国行 Semi-Flex M 運賃

②の旅程：NH 米国行 Standard U 運賃

※①②の利用便の航空会社・利用クラスは、いずれも適用運賃の規則に合致するものとする

4. 運賃計算上の折り返し地点と旅行形態：往路の終点をニューヨーク (NYC)、復路の始点をシカゴ (CHI) とするオープンジョー旅行

5. 各区分 TPM：TYO - 5458 (PA) - LAX - 2467 - NYC - 731 - CHI - 1847 - SFO - 5130 (PA) - TYO

6. 各都市 MPM (PA)：TYO - LAX 6549、TYO - NYC 8086
TYO - CHI 7539、TYO - SFO 6156

7. 予約と発券の完了日：2024 年 12 月 8 日 (日)

8. 航空券の発券・販売：日本

9. その他：運賃は本来 NUC で算出するが、問 1. と問 3. は計算簡素化のため日本円で算出する

10. カレンダー

2024 年 12 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2025 年 1 月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

第 16 問 - 資料 1

JL 米国行 < Semi-Flex M > (抜粋)

名称・運賃種別	Semi-Flex M 運賃	
目的地	米国 (ハワイを除く) (PA)	
適用旅客・人数	個人	
クラス・旅行形態	エコノミークラス往復、周回、オープンジョー	
適用期間・運賃	①運賃額詳細 (特定便追加運賃を含む) は、運賃表を参照 ②シーズナリティの適用 往路: 往路の国際線出発日を基準として、往路の旅程に適用する 復路: 復路の北米内の最終地点出発日を基準として、復路の旅程に適用する ③ウィークエンド (W)・ウィークデイ (X) 運賃の適用: 往路: 日本国内の最終地点を出発する曜日を基準とし、1/2 往復運賃を適用する 復路: 北米内の最終地点を出発する曜日を基準とし、1/2 往復運賃を適用する	
	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)
	往路出発 土~月	火~金
	復路出発 金・土	日~木
予約・発券	①予約クラス: "M" ②予約は最初の国際線搭乗日の7日前までに行う ③発券は以下の期限までに行う ・予約が最初の国際線搭乗日の29日以前: 予約完了後7日以内 ・予約が最初の国際線搭乗日の28日~7日前: 予約完了後3日以内。ただし最初の国際線搭乗日の7日前まで	
必要旅行日数	3日発・開始 (復路の太平洋横断旅行は往路の太平洋横断旅行出発後3日目以降)	
最長旅行期間	12ヵ月発・開始	
途中降機	第1地区内で往路・復路各1回無料で可	
乗り換え	第1地区内で往路・復路各2回可	
経路規定	日本発着国際区間は日本航空 (JL) に限る	
運賃計算規定	距離計算は行うが、HIP チェックは行わない	

Semi-Flex M 運賃表

[東京発・抜粋]

往路運賃: 往路の国際線出発日を基準として、往路の旅程に適用する

復路運賃: 復路の北米内の最終地点出発日を基準として、復路の旅程に適用する

【往路運賃】

(単位: 円)

目的地 シーズナリティ	LAX ロサンゼルス		SFO サンフランシスコ		CHI シカゴ		NYC ニューヨーク	
	W	X	W	X	W	X	W	X
10/1 ~ 12/23	363,000	343,000	372,000	352,000	384,000	364,000	389,000	369,000
12/24 ~ 12/30	423,000	403,000	432,000	412,000	444,000	424,000	449,000	429,000
12/31 ~ 3/31	363,000	343,000	372,000	352,000	384,000	364,000	389,000	369,000

【復路運賃】

(単位: 円)

目的地 シーズナリティ	LAX ロサンゼルス		SFO サンフランシスコ		CHI シカゴ		NYC ニューヨーク	
	W	X	W	X	W	X	W	X
10/1 ~ 12/31	363,000	343,000	372,000	352,000	384,000	364,000	389,000	369,000
1/1 ~ 1/6	423,000	403,000	432,000	412,000	444,000	424,000	449,000	429,000
1/7 ~ 3/31	363,000	343,000	372,000	352,000	384,000	364,000	389,000	369,000

特定便追加運賃

搭乗便が下記に該当する場合、下記の特定便追加運賃を Q サービスチャージとして追加する (小幼児割引適用)

	加算額 (片道)
運賃種別	Semi-Flex M
搭乗便	
JL001/002/005/006	7,500 円

第16問-資料2

NH 米国行 < Standard U > (抜粋)

名称・運賃種別	Standard U 運賃		
目的地	米国 (ハワイを除く) (PA)		
適用旅客・人数	個人		
クラス・旅行形態	エコノミークラス往復、周回、オープンジョー		
適用期間・運賃	①詳細は運賃表を参照 ②シーズナリティの適用 往路：往路の最初の国際線搭乗日を基準として、往路の旅程に適用する 復路：復路の最後の国際線搭乗日を基準として、復路の旅程に適用する ③ウィークエンド (W)・ウィークデイ (X) 運賃の適用 往路・復路の各方向の太平洋区間を出発する曜日に適用される 1/2 往復運賃をそれぞれ適用する		
		ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)
	往路出発	土～月	火～金
	復路出発	金・土	日～木
予約・発券	①予約クラス“U” ②予約は旅行開始の7日前までに行う ③発券は以下の期限までに行う ・予約が旅行開始の29日以前：予約完了後7日以内 ・予約が旅行開始の28～7日前：予約完了後3日以内。ただし旅行開始の7日前まで		
必要旅行日数	2日発・開始 (復路の太平洋横断旅行は往路の太平洋横断旅行出発後2日目以降)		
最長旅行期間	12ヵ月発・開始		
途中降機	北米内で往路・復路各1回無料で可		
乗り換え	第1地区内で往路・復路各3回可		
経路規定	日本発着国際線区間は全日空 (NH) に限る。ただし太平洋区間の他社運航のコードシェア便の利用はエアジャパン (NQ)、ユナイテッド航空 (UA) に限る		
運賃計算規定	指定経路型運賃であり、距離計算、HIP チェックは適用しない		

Standard U 運賃表 [東京発・抜粋]

往路運賃：往路の最初の国際線搭乗日を基準として、往路の旅程に適用する
 復路運賃：復路の最後の国際線搭乗日を基準として、復路の旅程に適用する

【往路運賃】

(単位：円)

目的地	LAX ロサンゼルス		SFO サンフランシスコ		CHI シカゴ		NYC ニューヨーク	
	W	X	W	X	W	X	W	X
10/1～12/22	328,000	308,000	337,000	317,000	349,000	329,000	354,000	334,000
12/23～12/30	388,000	368,000	397,000	377,000	409,000	389,000	414,000	394,000
12/31～3/31	328,000	308,000	337,000	317,000	349,000	329,000	354,000	334,000

【復路運賃】

(単位：円)

目的地	LAX ロサンゼルス		SFO サンフランシスコ		CHI シカゴ		NYC ニューヨーク	
	W	X	W	X	W	X	W	X
10/1～12/31	328,000	308,000	337,000	317,000	349,000	329,000	354,000	334,000
1/1～1/4	388,000	368,000	397,000	377,000	409,000	389,000	414,000	394,000
1/5～3/31	328,000	308,000	337,000	317,000	349,000	329,000	354,000	334,000

第 17 問. 下記の適用条件と資料 1、2 を参照して、問 1～3 の各設問に与えられた条件に基づいて、適用運賃規則に合致する最も安価な運賃算出のための計算式を、それぞれの選択肢から選びなさい。

1. 旅程：各設問に記載する
2. クラス・人員：エコノミークラス・大人 1 名
3. 適用運賃：この旅程に適用する NH エコノミークラス運賃は下記 3 種類のいずれかとする。なお結合可能運賃の規則により、各運賃の結合はできない。
 - NH Flex M 運賃
 - NH Standard V 運賃
 - NH Value L 運賃
4. 運賃計算上の折り返し地点と旅行形態：往路の終点を LON、復路の始点を ROM とするオープンジョー旅行
5. 各区分 TPM：TYO - 6220 (TS) - LON - 898 - ROM - 687 - PAR - 6207 (TS) - TYO
6. 各都市 MPM (TS)：TYO - LON 7468、TYO - ROM 7414、TYO - PAR 7448
7. 予約と発券の完了日：各設問に記載する
8. 航空券の発券・販売：日本
9. その他：運賃は本来 NUC で算出するが、計算簡素化のため日本円で算出する
10. カレンダー

2024 年 12 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2025 年 1 月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

問 1. 以下の 1) 2) の条件において、この全旅程に適用できる最も安価な運賃算出のための計算式を、3) の選択肢 A. ～D. の中から選びなさい。(途中降機料金や特定便追加運賃が必要であれば計算式に含める)

1) 旅程：

(区分)	(搭乗日)	(便名)	(出発)	(到着)
TYO - LON	12 月 16 日 (月)	NH 211	0955	1540
ROM - PAR	12 月 18 日 (水)	AF1205	1015	1225
PAR - TYO	12 月 20 日 (金)	NH 216	1830	1610 + 1

2) 予約・発券の完了日：9月1日（日）

3) 選択肢 (往路) (復路)

- A. $(115,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円}) + (135,000 \text{ 円} \times 1/2 + 20,000 \text{ 円} + 5,000 \text{ 円})$
- B. $(200,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円}) + (220,000 \text{ 円} \times 1/2 + 20,000 \text{ 円} + 5,000 \text{ 円})$
- C. $(220,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円}) + (220,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円})$
- D. $(550,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円}) + (550,000 \text{ 円} \times 1/2 + 20,000 \text{ 円} + 10,000 \text{ 円})$

問2. 以下の1) 2) の条件において、この全旅程に適用できる最も安価な運賃算出のための計算式を、3) の選択肢A. ~D. の中から選びなさい。(途中降機料金や特定便追加運賃が必要であれば計算式に含める)

1) 旅程：

(区間)	(搭乗日)	(便名)	(出発)	(到着)
TYO - LON	12月16日(月)	NH 211	0955	1540
ROM - PAR	12月26日(木)	AF1205	1015	1225
PAR - TYO	1月2日(木)	NH 216	1830	1610 + 1

2) 予約・発券の完了日：9月1日（日）

3) 選択肢 (往路) (復路)

- A. $(115,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円}) + (175,000 \text{ 円} \times 1/2 + 20,000 \text{ 円} + 5,000 \text{ 円})$
- B. $(135,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円}) + (115,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円})$
- C. $(200,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円}) + (260,000 \text{ 円} \times 1/2 + 20,000 \text{ 円})$
- D. $(550,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円}) + (510,000 \text{ 円} \times 1/2 + 20,000 \text{ 円} + 10,000 \text{ 円})$

問3. 以下の1) 2) の条件において、この全旅程に適用できる最も安価な運賃算出のための計算式を、3) の選択肢A. ~D. の中から選びなさい。(途中降機料金や特定便追加運賃が必要であれば計算式に含める)

1) 旅程：

(区間)	(搭乗日)	(便名)	(出発)	(到着)
TYO - LON	12月16日(月)	NH 211	0955	1540
ROM - PAR	1月1日(水)	AF1205	1015	1225
PAR - TYO	1月1日(水)	NH 216	1830	1610 + 1

2) 予約・発券の完了日：12月11日（水）

3) 選択肢 (往路) (復路)

- A. $(115,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円}) + (175,000 \text{ 円} \times 1/2 + 20,000 \text{ 円} + 5,000 \text{ 円})$
- B. $(200,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円}) + (260,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円})$
- C. $(510,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円}) + (510,000 \text{ 円} \times 1/2 + 20,000 \text{ 円} + 10,000 \text{ 円})$
- D. $(550,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円}) + (510,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円})$

第 17 問 - 資料 1

NH ヨーロッパ行 <Flex M> <Standard V> <Value L> (抜粋)

名称・運賃種別	Flex M 運賃	Standard V 運賃	Value L 運賃																		
目的地	ヨーロッパ (TS)																				
適用旅客・人数	個人																				
クラス・旅行形態	エコノミークラス往復、周回、オープンジョー																				
適用期間・運賃	<p>①運賃額詳細 (特定便追加運賃を含む) は運賃表を参照 ②ウィークエンド (W)・ウィークデイ (X) 運賃の適用: 往路: 日本国内の最終地点を出発する曜日を基準とし、1/2 往復運賃を適用する 復路: ヨーロッパ内の最終地点を出発する曜日を基準とし、1/2 往復運賃を適用する</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr> <td></td> <td>ウィークエンド (W)</td> <td>ウィークデイ (X)</td> </tr> <tr> <td>往路出発</td> <td>土～月</td> <td>火～金</td> </tr> <tr> <td>復路出発</td> <td>金・土</td> <td>日～木</td> </tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td></td> <td>ウィークエンド (W)</td> <td>ウィークデイ (X)</td> </tr> <tr> <td>往路出発</td> <td>土・日</td> <td>月～金</td> </tr> <tr> <td>復路出発</td> <td>金・土</td> <td>日～木</td> </tr> </table> <p>③シーズナリティの適用: 往路: 往路の最初の国際線出発日を基準として往路の旅程に適用する 復路: 復路の最後の国際線出発日を基準として復路の旅程に適用する</p>				ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)	往路出発	土～月	火～金	復路出発	金・土	日～木		ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)	往路出発	土・日	月～金	復路出発	金・土	日～木
	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)																			
往路出発	土～月	火～金																			
復路出発	金・土	日～木																			
	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)																			
往路出発	土・日	月～金																			
復路出発	金・土	日～木																			
予約・発券	①予約クラス "M" ②予約は旅行開始前までに行う ③発券は予約完了後 7 日以内に行う	①予約クラス "V" ②予約は旅行開始の 70 日前までに行う ③発券は予約完了後 48 時間以内に行う。 ただし旅行開始の 70 日前まで。	①予約クラス "L" ②予約は旅行開始の 7 日前までに行う ③発券は予約完了後 48 時間以内に行う。 ただし旅行開始の 7 日前まで。																		
必要旅行日数	2 日発・開始	3 日発・開始	3 日発・開始。ただしヨーロッパ内で土曜日の滞在が含まれていること																		
最長旅行期間	12 ヶ月発・開始																				
途中降機	ヨーロッパ内で往路・復路各 1 回可 (1 回につき 20,000 円)	ヨーロッパ内の乗り換え地点で往路・復路各 1 回可 (1 回につき 20,000 円)																			
乗り換え	ヨーロッパ内で往路・復路各 2 回可	LON/PAR/FRA/MUC/DUS/BRU/ZRH/GVA/VIE/ROM/MIL/STO/MOW/IST で往路・復路各 2 回可																			
経路規定	日本発着国際線区間は全日空 (NH) に限る																				
運賃計算規定	距離計算、HIP チェックを適用する	経路指定型運賃であり、距離計算、HIP チェックは適用しない																			
結合可能運賃	1/2 Flex B 運賃	1/2 Standard U 運賃	1/2 Value V/W/S 運賃																		
	発券、必要旅行日数、最長旅行期間、取り消し・払い戻しについては、結合されるより厳しい運賃規則が全旅程に適用される。ただし、適用期間、途中降機、乗り換え、経路規定、運賃計算規定、予約変更・経路変更については、フェアコンポーネントごとの運賃規則が適用される。																				

特定便追加運賃

搭乗便が下記特定便に該当する場合、特定便追加運賃を Q サーチャージとして加算する。

		Flex M	Standard V	Value L
搭乗便		加算額 (片道)	加算額 (片道)	加算額 (片道)
往路	NH211	10,000 円	5,000 円	5,000 円
復路	NH216	10,000 円	5,000 円	5,000 円

第 17 問—資料 2

Flex M 運賃表

(東京発・抜粋)

(単位：円)

目的地 シーズナリティ	LON ロンドン		ROM ローマ		PAR バリ	
	W	X	W	X	W	X
10/1 ~ 3/31	550,000	510,000	550,000	510,000	550,000	510,000

Standard V 運賃表

(東京発・抜粋)

往路運賃：往路の最初の国際線出発日を基準として往路の旅程に適用する

復路運賃：復路の最後の国際線出発日を基準として復路の旅程に適用する

〔復路運賃〕

(単位：円)

目的地 シーズナリティ	LON ロンドン		ROM ローマ		PAR バリ	
	W	X	W	X	W	X
10/1 ~ 12/26	220,000	200,000	220,000	200,000	220,000	200,000
12/27 ~ 12/30	280,000	260,000	280,000	260,000	280,000	260,000
12/31 ~ 3/31	220,000	200,000	220,000	200,000	220,000	200,000

〔復路運賃〕

(単位：円)

目的地 シーズナリティ	LON ロンドン		ROM ローマ		PAR バリ	
	W	X	W	X	W	X
10/1 ~ 12/31	220,000	200,000	220,000	200,000	220,000	200,000
1/1 ~ 1/4	280,000	260,000	280,000	260,000	280,000	260,000
1/5 ~ 3/31	220,000	200,000	220,000	200,000	220,000	200,000

Value L 運賃表

(東京発・抜粋)

往路運賃：往路の最初の国際線出発日を基準として往路の旅程に適用する

復路運賃：復路の最後の国際線出発日を基準として復路の旅程に適用する

〔往路運賃〕

(単位：円)

目的地 シーズナリティ	LON ロンドン		ROM ローマ		PAR バリ	
	W	X	W	X	W	X
10/1 ~ 12/26	135,000	115,000	135,000	115,000	135,000	115,000
12/27 ~ 12/30	195,000	175,000	195,000	175,000	195,000	175,000
12/31 ~ 3/31	135,000	115,000	135,000	115,000	135,000	115,000

〔復路運賃〕

(単位：円)

目的地 シーズナリティ	LON ロンドン		ROM ローマ		PAR バリ	
	W	X	W	X	W	X
10/1 ~ 12/31	135,000	115,000	135,000	115,000	135,000	115,000
1/1 ~ 1/4	195,000	175,000	195,000	175,000	195,000	175,000
1/5 ~ 3/31	135,000	115,000	135,000	115,000	135,000	115,000

第 18 問. 下記の適用条件に基づき、資料を参照して、各設問に答えなさい。

1. 旅程

出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
TOKYO (TYO)	NEW YORK (NYC)	01NOV (FRI)	JL 006	1110	1055
NEW YORK (NYC)	BOSTON (BOS)	04NOV (MON)	AA 084	0825	0935
BOSTON (BOS)	CHICAGO (CHI)	07NOV (THU)	UA 399	1230	1410
CHICAGO (CHI)	HOUSTON (HOU)	10NOV (SUN)	UA 245	1120	1405
HOUSTON (HOU)	LOS ANGELES (LAX)	13NOV (WED)	UA 511	1125	1315
LOS ANGELES (LAX)	TOKYO (TYO)	15NOV (FRI)	JL 061	1205	1655+1

※利用航空会社と利用クラスは、適用する運賃規則に合致するものとする

2. クラス・人員：プレミアムエコノミークラス・大人1名
3. 適用運賃：JL プレミアムエコノミークラス Flex W 運賃
4. 運賃計算上の折り返し地点：各設問に記載
5. 各区間 TPM：TYO - 6739 (PA) - NYC - 186 - BOS - 862 - CHI - 933 - HOU - 1383 - LAX - 5458 (PA) - TYO
6. 各都市 MPM (PA)：資料に記載
7. 航空券の発券・販売：日本
8. その他：運賃は本来 NUC で算出するが、計算簡素化のため日本円で算出する

問 1. この旅程において「JL プレミアムエコノミークラス Flex W 運賃」を適用し、HOU (ヒューストン) を折り返し地点とした場合、往路に適用する運賃を算出するための計算式はどれか。

- A. $1,407,000 \text{ 円} \times 1/2$
- B. $1,407,000 \text{ 円} \times 1/2 \times 1.10$
- C. $1,650,000 \text{ 円} \times 1/2$
- D. $1,650,000 \text{ 円} \times 1/2 \times 1.10$

【解答： 】

問 2. この旅程において「JL プレミアムエコノミークラス Flex W 運賃」を適用し、HOU (ヒューストン) を折り返し地点とした場合、復路に適用する運賃額はいくらか。

【解答： 円】

問3. この旅程において「JLプレミアムエコノミークラスFlex W運賃」を適用し、CHI（シカゴ）を折り返し地点とした場合、往路に適用する運賃を算出するための計算式はどれか。

- A. 1,283,000 円 × 1/2
- B. 1,283,000 円 × 1/2 × 1.05
- C. 1,351,000 円 × 1/2
- D. 1,351,000 円 × 1/2 × 1.05

【解答： 】

問4. この旅程において「JLプレミアムエコノミークラスFlex W運賃」を適用し、CHI（シカゴ）を折り返し地点とした場合、復路に適用する運賃を算出するための計算式はどれか。

- A. 1,526,000 円 × 1/2
- B. 1,526,000 円 × 1/2 × 1.05
- C. 1,650,000 円 × 1/2
- D. 1,650,000 円 × 1/2 × 1.05

【解答： 】

第18問-資料

JL 米国行 JL プレミアムエコノミークラス Flex W 運賃 (抜粋)

名称・運賃種別	JL プレミアムエコノミークラス Flex W 運賃											
目的地	米国 (ハワイを除く) (PA)											
適用旅客・人数	個人											
クラス・旅行形態	プレミアムエコノミークラス 片道、往復、周回、オープンジョー											
適用期間・運賃	①詳細は運賃表を参照 ②ウィークエンド (W)・ウィークデイ (X) 運賃の適用: ・片道運賃: 太平洋横断区間を出発する曜日に適用される片道運賃を適用する ・往復運賃: 往路と復路の各方向の太平洋横断区間を出発する曜日に適用される、1/2 往復運賃をそれぞれ適用する											
	往復運賃	<table border="1"> <tr> <td>ウィークエンド (W)</td> <td>ウィークデイ (X)</td> </tr> <tr> <td>W2W08ZN5</td> <td>W2X08ZN5</td> </tr> <tr> <td>往路出発</td> <td>土~月</td> </tr> <tr> <td>復路出発</td> <td>火~金</td> </tr> <tr> <td></td> <td>日~木</td> </tr> </table>	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)	W2W08ZN5	W2X08ZN5	往路出発	土~月	復路出発	火~金		日~木
ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)											
W2W08ZN5	W2X08ZN5											
往路出発	土~月											
復路出発	火~金											
	日~木											
予約・発券	①予約クラス: "W" ②発券の期限 (省略)											
必要旅行日数	制限なし											
最長旅行期間	12ヵ月発・開始											
途中降機	制限なし											
乗り換え	制限なし											
経路規定	太平洋横断区間は日本航空 (JL) に限る											
運賃計算規定	距離計算、HIP チェックを行う											

JL プレミアムエコノミークラス Flex W 運賃 電子タリフ (抜粋)

* 片道運賃および米国内の都市間の運賃は省略

(単位: 円)

TYONYC											
01SEP24**01SEP24/JL TYONYC PA/MPM 8086											
FARE BASIS	OW	JPY	RT	B	PEN	DATES/DAYS	AP	MIN	MAX	R	
W2X08ZN5			1351000	W	-	- -	+	-	12M	M	
W2W08ZN5			1594000	W	-	- -	+	-	12M	M	
TYOBOS											
01SEP24**01SEP24/JL TYOBOS PA/MPM 8040											
FARE BASIS	OW	JPY	RT	B	PEN	DATES/DAYS	AP	MIN	MAX	R	
W2X08ZN5			1351000	W	-	- -	+	-	12M	M	
W2W08ZN5			1594000	W	-	- -	+	-	12M	M	
TYOCHI											
01SEP24**01SEP24/JL TYOCHI PA/MPM 7539											
FARE BASIS	OW	JPY	RT	B	PEN	DATES/DAYS	AP	MIN	MAX	R	
W2X08ZN5			1283000	W	-	- -	+	-	12M	M	
W2W08ZN5			1526000	W	-	- -	+	-	12M	M	
TYOHOU											
01SEP24**01SEP24/JL TYOHOU PA/MPM 7989											
FARE BASIS	OW	JPY	RT	B	PEN	DATES/DAYS	AP	MIN	MAX	R	
W2X08ZN5			1407000	W	-	- -	+	-	12M	M	
W2W08ZN5			1650000	W	-	- -	+	-	12M	M	
TYOLAX											
01SEP24**01SEP24/JL TYOLAX PA/MPM 6549											
FARE BASIS	OW	JPY	RT	B	PEN	DATES/DAYS	AP	MIN	MAX	R	
W2X08ZN5			1121000	W	-	- -	+	-	12M	M	
W2W08ZN5			1364000	W	-	- -	+	-	12M	M	

第19問. 下記の適用条件に基づき、資料を参照して各設問に答えなさい。

適用条件

1. 旅程：各設問に記載
2. クラス・人員：ビジネスクラス・大人1名
3. 適用運賃：JL ビジネスクラス Semi - Flex J・D 運賃 / Special I 運賃
4. 運賃計算上の折り返し地点と旅行形態：各設問に記載
5. 航空券の予約完了日・発券日：各設問に記載
6. 各区間の TPM と MPM：運賃計算規定により省略
7. 航空券の発券・販売：日本
8. その他：運賃は本来 NUC 額にて算出するが、計算簡素化のため円貨額にて算出する。
9. カレンダー

2025年1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2025年2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

問1. 以下の(1)～(3)の条件において、往路に Special I 運賃、復路に Semi - Flex D 運賃を適用した場合の計算式を、(4)の選択肢 A.～D. の中から選びなさい。

- (1) 旅程： (出発) (到着)
- FUK - TYO 2月10日(月) JL 322 1700 1835
- TYO - SIN 2月11日(火) JL 037 1050 1730
- SIN - PEN 他の運送機関利用
- PEN - KUL 2月17日(月) MH1143 1040 1140
- KUL - TYO 2月21日(金) JL724 2250 0645+1

(2) 予約・発券の完了日：2025年1月22日(水)

(3) 運賃計算上の折り返し地点と旅行形態：往路は始点を FUK、終点を SIN とし、復路は始点を PEN、終点を TYO とするダブルオープンジョー旅行

(4) 計算式 (往路) (復路)

- A. $290,000 \text{ 円} \times 1/2 + 463,000 \text{ 円} \times 1/2$
- B. $306,000 \text{ 円} \times 1/2 + 543,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円}$
- C. $340,000 \text{ 円} \times 1/2 + 463,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円}$
- D. $356,000 \text{ 円} \times 1/2 + 543,000 \text{ 円} \times 1/2$

問2. 上記問1. の全旅程に適用する運賃の適用規則についての説明で、正しい場合は正、誤っている場合は誤、を選びなさい。

- A. 当該運賃の必要旅行日数の規則の条件を満たす、KUL - TYO 間の最も早い旅行開始日は、2月13日である。

【解答：正・誤】

- B. 当該運賃の最長旅行期間の規則を最大限に適用したときの、復路 KUL - TYO 間の旅行開始日は、2026年2月21日である。

【解答：正・誤】

問3. 以下の(1)～(3)の条件において、この全旅程に適用できる最も安価な運賃算出のための計算式を、(4)の選択肢A.～D.の中から選びなさい。

(1) 旅程： (出発) (到着)

TYO - SIN 2月10日(月) JL037 1050 1730

SIN - KUL 2月13日(木) MH608 1720 1825

KUL - PEN 他の運送機関利用

PEN - KUL 2月20日(木) MH1143 1040 1140

KUL - TYO 2月20日(木) JL724 2250 0645+1

(2) 航空券の予約完了日・発券日：2025年1月22日(水)

(3) 運賃計算上の折り返し地点と旅行形態：往路の終点をKULとし、復路の始点をPENとするオープンジョー旅行

(4) 計算式 (往路) (復路)

A. $340,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円} + 314,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円}$

B. $505,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円} + 463,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円}$

C. $643,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円} + 314,000 \text{ 円} \times 1/2$

D. $643,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円} + 606,000 \text{ 円} \times 1/2$

問4. 上記問3. の全旅程に適用する運賃の適用規則についての説明で、正しい場合は正、誤っている場合は誤、を選びなさい。

- A. この航空券を1月22日に発券後、2月5日に旅客の都合により当該旅程の予約を取り消しする場合、取り消し手数料40,000円を支払い、残額が払い戻しされる。(旅行会社や航空会社が別途定めた払い戻しに関わる取扱手数料は考慮しない。)

【解答：正・誤】

- B. SINに滞在中の2月11日(火)に、旅客の都合により、KUL - TYO間のJL724便を、2月22日(土)の同一便、同一クラスに変更する場合、変更料金を支払うことなく、無料で変更の手続きが可能となる。

【解答：正・誤】

第19問—資料

JL 東南アジア行 < Semi-Flex J > < Semi-Flex D > < Special I > (抜粋)

名称・運賃種別	Semi-Flex J 運賃	Semi-Flex D 運賃	Special I 運賃									
目的地	東南アジア											
適用旅客・人数	個人											
クラス・旅行形態	ビジネスクラス往復、周回、オープンジョー											
適用期間・運賃	①詳細は運賃表を参照 ②ウィークエンド (W)・ウィークデイ (X) 運賃の適用： 往路：日本国内の最終地点を出発する曜日を基準とし、1/2 往復運賃を適用する 復路：最終国際線区間を出発する曜日を基準とし、1/2 往復運賃を適用する											
			<table border="1"> <tr> <td></td> <td>ウィークエンド (W)</td> <td>ウィークデイ (X)</td> </tr> <tr> <td>往路出発</td> <td>日・月</td> <td>火～土</td> </tr> <tr> <td>復路出発</td> <td>金・土</td> <td>日～木</td> </tr> </table>		ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)	往路出発	日・月	火～土	復路出発	金・土	日～木
	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)										
往路出発	日・月	火～土										
復路出発	金・土	日～木										
予約・発券	①予約クラス：“J” ②予約は最初の国際線搭乗日の3日前までに行う ③発券は予約完了後7日以内に行う。ただし、最初の国際線搭乗日の3日前まで	①予約クラス：“D” ②予約は最初の国際線搭乗日の14日前までに行う ③発券は予約完了後7日以内に行う。ただし、最初の国際線搭乗日の14日前まで	①予約クラス：“I” ②予約は最初の国際線搭乗日の7日前までに行う ③発券は予約完了後7日以内に行う。ただし、最初の国際線搭乗日の7日前まで									
必要旅行日数	制限なし	2日発・開始	復路の最終国際線区間は最初の日曜日以降									
最長旅行期間	12ヵ月発・開始											
途中降機	シンガポール行：KULで往路・復路各1回可 (1回につき10,000円) マレーシア行：KULまたはSINで往路・復路各1回可 (1回につき10,000円)	シンガポール行：不可 マレーシア行：KULで往路・復路各1回可 (1回につき10,000円)										
乗り換え	日本国内で往路・復路各1回可。さらにシンガポール行：KULで往路・復路各1回可 マレーシア行：KULまたはSINで往路・復路各1回可	日本国内で往路・復路各1回可。さらにシンガポール行：日本国外での乗り換えは不可 マレーシア行：KULで往路・復路各1回可										
経路規定	①日本国内区間は日本航空 (JL) または日本トランスオーシャン航空 (NU) に限る。 ②日本発着国際線区間は日本航空 (JL) に限る。											
運賃計算規定	指定経路型運賃であり、距離計算、HIP チェックは行わない											
結合可能運賃	①当該運賃用日本国内アドオン運賃 ②結合可能な東南アジア行 1/2JL 運賃：(含む Semi-Flex J 運賃 / Semi-Flex D 運賃 / Special I 運賃) 発券、必要旅行日数、最長旅行期間、取り消し・払い戻しについては結合されるより厳しい運賃規則が全旅程に適用される。ただし適用期間、途中降機、乗り換え、経路規定、運賃計算規定、予約変更・経路変更については、フェアコンポーネントごとの運賃規則が適用される。											
予約変更 経路変更	無料で可。 すでに予約が入っている便の出発時刻までに変更手続きを行うこと。変更の結果生じる差額調整は行うこと。	1回につき変更料金 30,000 円で可										
取り消し 払い戻し	(旅行開始前) ① 往路の最初の区間の予約便出発時刻より前に取り消しの連絡を行った場合、大人 40,000 円を取り消し手数料として収受し、残額を払い戻す ② 予約便の取り消しを行わなかった場合 払い戻し不可 (旅行開始後) 出発地からすでに旅行した区間を適用可能普通運賃で再計算し、運賃額との差額がある場合は残額を払い戻す		(旅行開始前/旅行開始後) 払い戻し不可									

運賃表 (抜粋)

出発地	目的地	東京 (単位：円)					
		SIN シンガポール		KUL クアラルンプール		PEN ベナン	
		W	X	W	X	W	X
10/1 ~ 3/31	Semi-Flex J 運賃	617,000	567,000	643,000	593,000	656,000	606,000
	Semi-Flex D 運賃	503,000	423,000	505,000	425,000	543,000	463,000
	Special I 運賃	340,000	290,000	340,000	290,000	364,000	314,000

日本国内アドオン運賃 加算表 (抜粋)

日本国内の各出発地から東南アジア行き。Semi-Flex J 運賃、Semi-Flex D 運賃、Special I 運賃は東京発運賃に下記を加算する。

加算地点	日本国内設定都市	加算額 (往復)
東京	札幌、函館、福岡、他設定都市	16,000 円

第 20 問. 下記の適用条件に基づき、資料を参照して、各設問に答えなさい。

1. 旅程

出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
TOKYO (TYO)	LOS ANGELES (LAX)	01DEC(日)	NH 006	1700	0945
LOS ANGELES (LAX)	SEATTLE (SEA)	03DEC(火)	UA 5608	0910	1200
SEATTLE (SEA)	CHICAGO (CHI)	他の運送機関利用			
CHICAGO (CHI)	NEW YORK (NYC)	09DEC(月)	UA 1995	1700	2030
NEW YORK (NYC)	TOKYO (TYO)	12DEC(木)	NH 109	1305	1740+1

※利用航空会社と利用クラスは、適用する運賃規則に合致するものとする

2. クラス・人員：エコノミークラス・大人1名
3. 適用運賃：NH Flex B 運賃
4. 運賃計算上の折り返し地点と旅行形態：往路の終点を SEA、復路の始点を CHI とするオープンジョー旅行
5. 各区間 TPM：TYO - 5458 (PA) - LAX - 956 - SEA - 1723 - CHI - 731 - NYC - 6739 (PA) - TYO
6. 各都市 MPM (PA)：TYO - LAX 6549、TYO - SEA 5730
TYO - CHI 7539、TYO - NYC 8086
7. 予約・発券の完了日：2024 年 11 月 21 日 (木)
8. 航空券の発券・販売：日本
9. その他：運賃は本来 NUC で算出するが、計算簡素化のため日本円で算出する

[Specified Routing (特定経路)]

指定された経路に沿った旅程であれば、マイルージ計算や HIP チェックをすることなく始点～終点間の直行運賃をそのまま適用することができる

Between Area 1 and Area 3 Via Pacific (PA)

Between	And	Via	(注)
Seattle (SEA)	Japan	Los Angeles (LAX) / San Francisco (SFO)	

(注) Via (経由) は、LAX または SFO のいずれか 1 都市のみ

問1. この旅程において「NH Flex B 運賃」を適用した場合、往路運賃を算出するための計算式はどれか。

- A. $515,000 \text{ 円} \times 1/2$
- B. $515,000 \text{ 円} \times 1/2 \times 1.15$
- C. $575,000 \text{ 円} \times 1/2$
- D. $575,000 \text{ 円} \times 1/2 \times 1.15$

【解答： 】

問2. この旅程において「NH Flex B 運賃」を適用した場合、復路運賃を算出するための計算式はどれか。

- A. $535,000 \text{ 円} \times 1/2$
- B. $535,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円}$
- C. $553,000 \text{ 円} \times 1/2$
- D. $553,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円}$

【解答： 】

問3. 復路のコンポーネント (CHI - NYC - TYO) の NYC - TYO 間は、12月12日 (木) の NH109 便であるが、この搭乗便が、12月10日 (火) の NH159 便 (NYC 発 01:00) の B クラスである場合、復路運賃を算出するための計算式はどれか。

- A. $535,000 \text{ 円} \times 1/2$
- B. $535,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円}$
- C. $553,000 \text{ 円} \times 1/2$
- D. $553,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円}$

【解答： 】

問4. この旅程の旅客が、往路の最初の区間の予約便出発時刻までに、予約便の取り消しの連絡を行わずに旅行を中止し、予約・発券した旅行会社を通じて12月3日に未使用の航空券の払い戻しの手続きをする場合、払い戻しに関する説明で正しいものはどれか。(旅行会社や航空会社が別途定めた払い戻しに関わる取扱手数料は考慮しない。)

- A. 手数料なしで払い戻しが行われる。
- B. 30,000 円の取り消し手数料が徴収され、払い戻しが行われる。
- C. 往路分 30,000 円、復路分 30,000 円の計 60,000 円の取り消し手数料が徴収され、払い戻しが行われる。
- D. 払い戻しは不可である。

【解答： 】

第20問—資料

NH 米国行 < Flex B > (抜粋)

名称・運賃種別	Flex B 運賃										
目的地	米国（ハワイを除く）(PA)										
適用旅客・人数	個人										
クラス・旅行形態	エコノミークラス往復、周回、オープンジョー										
適用期間・運賃	①詳細は運賃表を参照 ②ウィークエンド (W)・ウィークデイ (X) 運賃の適用 往路・復路の各方向の太平洋区間を出発する曜日に適用される1/2往復運賃をそれぞれ適用する <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>ウィークエンド (W)</th> <th>ウィークデイ (X)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>往路出発</td> <td>土～月</td> <td>火～金</td> </tr> <tr> <td>復路出発</td> <td>金・土</td> <td>日～木</td> </tr> </tbody> </table> 往路・復路が特定便に該当する場合、特定便追加運賃をQサーチャージとしてそれぞれの額を追加する			ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)	往路出発	土～月	火～金	復路出発	金・土	日～木
	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)									
往路出発	土～月	火～金									
復路出発	金・土	日～木									
予約・発券	①予約クラス“B” ②予約は旅行開始前までに行う ③発券は予約完了後7日以内。ただし旅行開始前まで										
必要旅行日数	制限なし										
最長旅行期間	12ヵ月発・開始										
途中降機	北米内で往路・復路無料で各1回可。さらに往路・復路各3回可（1回につき10,000円）										
乗り換え	第1地区内で往路・復路各4回可										
経路規定	日本発着国際区間は全日空 (NH) に限る										
運賃計算規定	距離計算、HIP チェックを適用する										
予約変更 経路変更	①旅行開始前／旅行開始後：無料で可。ただし変更の結果生じる差額の調整を行う ②すでに予約が入っている便の出発時刻前までに変更手続きを行うこと										
取り消し 払い戻し	旅行開始前 大人 30,000円、小児 22,500円を取り消し手数料として収受し、残額を払い戻す 旅行開始後 払い戻し不可										

Flex B 運賃表

[東京発・抜粋]

(単位：円)

目的地	LAX ロサンゼルス SEA シアトル		CHI シカゴ		NYC ニューヨーク	
	W	X	W	X	W	X
シーズナリティ						
10/1～3/31	575,000	515,000	595,000	535,000	613,000	553,000

特定便追加運賃

搭乗便が下記に該当する場合、下記の特定便追加運賃をQサーチャージとして加算する。

路線	便名	加算額 (片道)
ロサンゼルス	NH105/106	10,000円
ニューヨーク	NH109/110	

第21問. 下記の適用条件に基づき、資料を参照して各設問に答えなさい。

適用条件

1. 旅程：各設問に記載
2. クラス・人員：エコノミークラス・大人1名
3. 適用運賃：この旅程に適用する運賃は下記の3種類のいずれかとする。
 - NH エコノミークラス Flex B 運賃 (予約クラス：B)
 - NH エコノミークラス Flex U 運賃 (予約クラス：U)
 - NH エコノミークラス Standard W 運賃 (予約クラス：W)
4. 運賃計算上の折り返し地点と旅行形態：各設問に記載
5. 各区間の TPM と MPM：
 - 各区分間 TPM：TYO - 6220 (TS) - LON - 220 - PAR - 1310 - ATH - 1129 - FRA - 5929 (TS) - TYO
 - MPM (TS)：TYO - LON 7468、TYO - PAR 7448、TYO - ATH 7309
TYO - FRA 7480
6. 航空券の予約・発券の完了日：各設問に記載
7. 航空券の発券・販売：日本
8. その他：運賃は本来 NUC 額で算出するが、計算簡素化のため円貨額で算出する。
9. カレンダー

2025年2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

2025年3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

問1. 以下の(1)～(4)の条件において、往路・復路に Standard W 運賃を適用し、運賃規則に基づき折り返し地点を設定した場合、運賃算出のための計算式を(5)の選択肢 A.～D.の中から選びなさい。

- (1) 旅程： (出発) (到着)
- TOKYO(HND) - LONDON(LON) × 14FEB (金) NH211 0955 1540
- LONDON(LON) - PARIS(PAR) × 15FEB (土) AF1138 0830 0925
- PARIS(PAR) - ATHENS(ATH) × 20FEB (木) AF1532 0940 1355
- ATHENS(ATH) - FRANKFURT(FRA) × 01MAR (土) LH1283 1750 1950
- FRANKFURT(FRA) - TOKYO(HND) × 03MAR (月) NH204 1130 0840+1

- (2) 予約・発券の完了日：2025年2月1日（土）
- (3) 運賃計算上の折り返し地点と旅行形態：設問の都合上、伏せてある。
- (4) 予約の変更：全旅程を予約の変更なく旅行を完了するものとする。
- (5) 計算式
- A. (往路) $170,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円}$
 (復路) $170,000 \text{ 円} \times 1/2 + 20,000 \text{ 円} \times 2$
- B. (往路) $170,000 \text{ 円} \times 1/2 \times 1.20 + 5,000 \text{ 円} + 20,000 \text{ 円} \times 2$
 (復路) $170,000 \text{ 円} \times 1/2$
- C. (往路) $175,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円} + 20,000 \text{ 円}$
 (復路) $175,000 \text{ 円} \times 1/2 + 20,000 \text{ 円}$
- D. (往路) $175,000 \text{ 円} \times 1/2 \times 1.10 + 5,000 \text{ 円} + 20,000 \text{ 円}$
 (復路) $175,000 \text{ 円} \times 1/2 + 20,000 \text{ 円}$

問2. 以下の(1)～(4)の条件において、この全旅程に適用できる最も安価な運賃算出のための計算式を、(5)の選択肢A.～D.の中から選びなさい。

- (1) 旅程： (出発) (到着)
- | | | | |
|------------------------------|------------------|------|--------|
| TOKYO(HND) - LONDON(LON) | 14FEB (金) NH211 | 0955 | 1540 |
| LONDON(LON) - PARIS(PAR) | 19FEB (水) AF1138 | 0830 | 0925 |
| PARIS(PAR) - ATHENS(ATH) | 他の運送機関利用 | | |
| ATHENS(ATH) - FRANKFURT(FRA) | 23FEB (日) LH1283 | 1750 | 1950 |
| FRANKFURT(FRA) - TOKYO(HND) | 08MAR (土) NH224 | 2045 | 1755+1 |
- (2) 予約・発券の完了日：2025年2月1日（土）
- (3) 運賃計算上の折り返し地点と旅行形態：往路の終点をPAR、復路の始点をATHとするオープンジョー旅行
- (4) 予約の変更：ATH滞在中に、変更手数料を支払うことなく、FRA - TYO間のNH224便を3月8日（土）から3月7日（金）のNH224便の同一クラスに、予約の変更が可能な運賃を適用するものとする。
- (5) 計算式
- A. (往路) $170,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円} + 20,000 \text{ 円}$
 (復路) $185,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円} + 20,000 \text{ 円}$
- B. (往路) $170,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円} + 20,000 \text{ 円}$
 (復路) $465,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円} + 20,000 \text{ 円}$
- C. (往路) $410,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円} + 20,000 \text{ 円}$
 (復路) $465,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円} + 20,000 \text{ 円}$
- D. (往路) $544,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円} + 20,000 \text{ 円}$
 (復路) $590,000 \text{ 円} \times 1/2 + 10,000 \text{ 円} + 20,000 \text{ 円}$

問3. 以下の(1)～(4)の条件において、この全旅程に適用できる最も安価な運賃算出のための計算式を、(5)の選択肢A.～D.の中から選びなさい。

(1) 旅程： (出発) (到着)

TOKYO(HND) - LONDON(LON)	14FEB (金) NH211	0955	1540
LONDON(LON) - PARIS(PAR)	17FEB (月) AF1138	0830	0925
PARIS(PAR) - ATHENS(ATH)	19FEB (水) AF1532	0940	1355
ATHENS(ATH) - FRANKFURT(FRA)	22FEB (土) LH1283	1750	1950
FRANKFURT(FRA) - TOKYO(HND)	24FEB (月) NH204	1130	0840+1

(2) 予約・発券の完了日 : 2025年2月5日(水)

(3) 運賃計算上の折り返し地点と旅行形態 : 折り返し地点をATHとする周回旅行

(4) 予約の変更 : 全旅程を予約の変更なく旅行を完了するものとする。

(5) 計算式

- A. (往路) $175,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円} + 20,000 \text{ 円} \times 2$
(復路) $175,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円} + 20,000 \text{ 円}$
- B. (往路) $415,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円} + 20,000 \text{ 円} \times 2$
(復路) $415,000 \text{ 円} \times 1/2 + 20,000 \text{ 円}$
- C. (往路) $550,000 \text{ 円} \times 1/2 \times 1.10 + 10,000 \text{ 円} + 20,000 \text{ 円}$
(復路) $175,000 \text{ 円} \times 1/2 + 5,000 \text{ 円} + 20,000 \text{ 円}$
- D. (往路) $550,000 \text{ 円} \times 1/2 \times 1.10 + 10,000 \text{ 円} + 20,000 \text{ 円} \times 2$
(復路) $415,000 \text{ 円} \times 1/2 + 20,000 \text{ 円}$

問4. 上記問3. の全旅程の予約完了日は2025年2月5日(水)であるが、航空券の発券が可能な最終日は次のどれか。

- A. 2月5日
- B. 2月7日
- C. 2月8日
- D. 2月12日

第 21 問 - 資料

NH ヨーロッパ行 < Flex B > < Flex U > < Standard W > (抜粋)

名称・運賃種別	Flex B 運賃	Flex U 運賃	Standard W 運賃																		
目的地	ヨーロッパ (TS)																				
適用旅客・人数	個人																				
クラス・旅行形態	エコノミークラス往復、周回、オープンジョー																				
適用期間・運賃	<p>①運賃額詳細 (特定便追加運賃を含む) は運賃表を参照 ②ウィークエンド (W)・ウィークデイ (X) 運賃の適用: (往路) 日本国内の最終地点を出発する曜日を基準とし、1/2 往復運賃を適用する (復路) ヨーロッパ内の最終地点を出発する曜日を基準とし、1/2 往復運賃を適用する</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>ウィーク エンド(W)</th> <th>ウィーク デイ (X)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>往路出発</td> <td>土～月</td> <td>火～金</td> </tr> <tr> <td>復路出発</td> <td>金・土</td> <td>日～木</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th></th> <th>ウィーク エンド(W)</th> <th>ウィーク デイ (X)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>往路出発</td> <td>土・日</td> <td>月～金</td> </tr> <tr> <td>復路出発</td> <td>金・土</td> <td>日～木</td> </tr> </tbody> </table> <p>③シーズナリティの適用: 往路: 往路の最初の国際線出発日を基準として往路の旅程に適用する 復路: 復路の最後の国際線出発日を基準として復路の旅程に適用する</p>				ウィーク エンド(W)	ウィーク デイ (X)	往路出発	土～月	火～金	復路出発	金・土	日～木		ウィーク エンド(W)	ウィーク デイ (X)	往路出発	土・日	月～金	復路出発	金・土	日～木
	ウィーク エンド(W)	ウィーク デイ (X)																			
往路出発	土～月	火～金																			
復路出発	金・土	日～木																			
	ウィーク エンド(W)	ウィーク デイ (X)																			
往路出発	土・日	月～金																			
復路出発	金・土	日～木																			
予約・発券	<p>①予約クラス: "B" ②予約は旅行開始前までに行う ③発券は予約完了後 7 日以内に行う</p>	<p>①予約クラス: "U" ②予約は旅行開始前までに行う ③発券は以下の期限までに行う ・予約が旅行開始の 29 日以前: 予約完了後 7 日以内 ・予約が旅行開始の 28 日前～旅行開始前: 予約完了後 3 日以内。ただし旅行開始前まで</p>	<p>①予約クラス: "W" ②予約は旅行開始の 7 日前までに行う ③発券は予約完了後 48 時間以内。ただし旅行開始の 7 日前まで</p>																		
必要旅行日数	制限なし	3 日発・開始	3 日発・開始。ただしヨーロッパ内で土曜日の滞在が含まれていること																		
最長旅行期間	12 ヶ月発・開始	12 ヶ月発・開始	12 ヶ月発・開始																		
途中降機	ヨーロッパ内で往路・復路各 2 回可 (1 回につき 20,000 円)	ヨーロッパ内で往路・復路各 1 回可 (1 回につき 20,000 円)	ヨーロッパ内の乗り換え地点で往路・復路各 1 回可 (1 回につき 20,000 円)																		
乗り換え	ヨーロッパ内で往路・復路各 3 回可	ヨーロッパ内で往路・復路各 2 回可	LON/PAR/FRA/MUC/DUS/ZRH/BRU/GVA/VIE/ROM/MIL/STO/MOW/IST で往路・復路各 2 回可																		
経路規定	日本発着の国際線区間は全日空 (NH) に限る																				
運賃計算規定	距離計算、HIP チェックを適用する	距離計算、HIP チェックは適用しない																			
結合可能運賃	1/2 Flex U 運賃	1/2 Flex B 運賃	1/2 Standard V/W/S 運賃																		
	発券、必要旅行日数、最長旅行期間、取り消し・払い戻しについては、結合されるより厳しい運賃規則が全旅程に適用される。ただし、適用期間、途中降機、乗り換え、経路規定、運賃計算規定、予約変更・経路変更については、フェアコンポーネントごとの運賃規則が適用される。																				
予約変更 経路変更	旅行開始前 / 旅行開始後 無料で可。ただしすでに予約が入っている便の出発時刻までに手続きを行う (変更の結果生じる差額調整は行う)		旅行開始前 / 旅行開始後 1 回につき変更手数料 20,000 円で可。ただしすでに予約が入っている便の出発時刻までに手続きを行う (変更の結果生じる差額調整は行う)																		
取り消し 払い戻し	<p>(旅行開始前) 大人 30,000 円、小児 22,500 円を取り消し手数料として収受し残額を払い戻す (旅行開始後) 払い戻し不可</p>																				

Flex B 運賃表

(東京発・抜粋)

(単位：円)

シーズンナリテイ \ 目的地	LON ロンドン		PAR パリ		FRA フランクフルト		ATH アテネ	
	W	X	W	X	W	X	W	X
1/1 ~ 3/31	584,000	544,000	584,000	544,000	584,000	544,000	590,000	550,000

Flex U 運賃表

(東京発・抜粋)

往路運賃：往路の最初の国際線出発日を基準として、往路の旅程に適用する

復路運賃：復路の最後の国際線出発日を基準として、復路の旅程に適用する

〔往路運賃〕

(単位：円)

シーズンナリテイ \ 目的地	LON ロンドン		PAR パリ		FRA フランクフルト		ATH アテネ	
	W	X	W	X	W	X	W	X
1/1 ~ 2/28	430,000	410,000	430,000	410,000	430,000	410,000	435,000	415,000
3/1 ~ 3/31	460,000	440,000	460,000	440,000	460,000	440,000	465,000	445,000

〔復路運賃〕

(単位：円)

シーズンナリテイ \ 目的地	LON ロンドン		PAR パリ		FRA フランクフルト		ATH アテネ	
	W	X	W	X	W	X	W	X
1/1 ~ 1/3	460,000	440,000	460,000	440,000	460,000	440,000	465,000	445,000
1/4 ~ 2/28	430,000	410,000	430,000	410,000	430,000	410,000	435,000	415,000
3/1 ~ 3/31	460,000	440,000	460,000	440,000	460,000	440,000	465,000	445,000

Standard W 運賃表

(東京発・抜粋)

往路運賃：往路の最初の国際線出発日を基準として、往路の旅程に適用する

復路運賃：復路の最後の国際線出発日を基準として、復路の旅程に適用する

〔往路運賃〕

(単位：円)

シーズンナリテイ \ 目的地	LON ロンドン		PAR パリ		FRA フランクフルト		ATH アテネ	
	W	X	W	X	W	X	W	X
1/1 ~ 3/31	180,000	170,000	180,000	170,000	180,000	170,000	185,000	175,000

〔復路運賃〕

(単位：円)

シーズンナリテイ \ 目的地	LON ロンドン		PAR パリ		FRA フランクフルト		ATH アテネ	
	W	X	W	X	W	X	W	X
1/1 ~ 1/6	190,000	180,000	190,000	180,000	190,000	180,000	195,000	185,000
1/7 ~ 3/31	180,000	170,000	180,000	170,000	180,000	170,000	185,000	175,000

特定便追加運賃

搭乗便が下記特定便に該当する場合、特定便追加運賃をQサーチャージとして加算する。

搭乗便		Flex B	Flex U	Standard W
		加算額 (片道)	加算額 (片道)	加算額 (片道)
往路	NH203/211/215/217/223	10,000 円	5,000 円	5,000 円
復路	NH212/216/218/224	10,000 円	5,000 円	5,000 円